



CHIBA BANK 2011

ディスクロージャー誌
2011年3月期

地域と、全力。



千葉銀行グループは、お客さまの声に謙虚に耳を傾け、お客さまの視点で考え、お客さまのために行動していくことを基本に、「創造力溢れるリテールトップバンク」として、お客さまのご期待にお応えできるサービスの提供に努めてまいります。

千葉銀行のプロフィール (平成23年3月31日現在)

設立 昭和18年3月

拠点 **国内:** 172店舗(本支店152、特別出張所5、出張所13、仮想店舗2)
両替出張所3か所

店舗外現金自動設備33,885か所
(うちコンビニATM[E-net]11,002か所、セブン銀行との提携による
共同ATM14,036か所、ローソンとの提携によるATM8,585か所)

海外: 3店舗(ニューヨーク、香港、ロンドン) **2駐在員事務所**(上海、シンガポール)

従業員数	4,296人	資本金	1,450億円
総資産	10兆4,905億円	発行済株式数	895,521千株
預金	9兆1,383億円	自己資本比率	連結13.37% 単体12.76%
貸出金	7兆3,714億円		



当行が契約している銀行法上の指定紛争解決機関

一般社団法人全国銀行協会

連絡先 全国銀行協会相談室 電話番号 0570-017109 または 03-5252-3772

本誌は、銀行法第21条に基づいて作成したディスクロージャー資料(業務及び財産の状況に関する説明書類)です。このうち、財務データと自己資本の充実の状況に係る事項(パーゼルII 第3の柱)については、別冊に記載しています。

諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。



目次

■ 頭取インタビュー

佐久間頭取に聞く

お客さまに最も身近で、信頼される千葉銀行へ..... 3

■ 中期経営計画

第11次中期経営計画「フロンティア 70」..... 7

■ 業績の概況

平成23年3月期 業績のご報告 9

財務諸表(連結) 11

財務諸表(単体) 13

資産健全化への対応と再生支援 15

■ トピックス 17

■ CSRへの取組み

ちばぎんグループのCSRコンセプト 19

東日本大震災に対する取組み 19

社会貢献活動の取組み 21

地域密着型金融の推進への取組みについて 25

金融円滑化への取組みについて 26

お客さま満足度向上に向けた取組み 27

職員満足度向上に向けた取組み 28

コンプライアンス体制 29

■ 主要な業務内容 31

■ ちばぎんグループのご案内 32

■ コーポレート・ガバナンス 33

■ リスク管理体制 35

■ ネットワーク等のご案内

店舗・キャッシュコーナー一覧 41

主な手数料一覧 49

■ 役員及び組織 51

■ 索引 52

佐久間頭取に聞く

お客さまに最も身近で、 信頼される千葉銀行へ



谷本 有香さん(インタビュアー)

取締役頭取 佐久間 英利

大震災後の経済環境について

谷本：東日本大震災が経済に与えた影響や今後の見通しについて、まずお聞かせいただけますか。

佐久間：東日本大震災は、地震の揺れに津波や液状化が加わり、生産設備や家屋、道路や上下水道などの社会インフラに大きな被害をもたらしました。また原発事故の影響は、風評被害も含めて、農業、水産業、観光業まで広範囲に及びました。

時間の経過とともに復旧が進み、県内の経済

活動は徐々に回復に向かっています。夏場の電力不足が懸念材料ではありますが、原発の問題が落ち着けば、千葉県と隣接地域を合わせた「広域千葉圏」は本来の成長力を取り戻すと考えています。

平成23年3月期の決算について

谷本：大震災の影響もあった中で、平成23年3月期の決算はいかがでしたか。



佐久間：預金・貸出金残高はともに増加しましたが、運用利回りの低下等により、業務純益は一般貸倒引当金繰入前で前期比33億円減少し784億円となりました。一方、信用コストの減少等から、経常利益は前期比63億円増加の597億円、当期純利益は前期比19億円増加の381億円となりました。また連結では、経常利益は前期比84億円増加の653億円、当期純利益は前期比30億円増加の406億円となりました。

自己資本比率は、連結13.37%、単体12.76%と高い健全性を維持しています。配当金については、前年度と同額の年11円配当としました。

前中期経営計画の成果と課題について

谷本：平成23年3月をもって前中期経営計画「1st 1st」(ダブルファースト)が終了しました。頭取ご自身はどのように評価されていますか。

佐久間：営業面・管理面の双方で着実にレベルアップできたと評価しています。

平成21・22年度ともに融資新規先数が目標4,000件を超えたほか、成長地域への新規出店効果等により、中小企業向け貸出金残高や住宅ローン残高も増加しました。さらに、海外の金融機関との連携などにより商品・サービスが多様化したほか、担当者のスキルアップを図るなどお客さまの資産運用に関するコンサルティング機能も向上したと考えています。

また、金融危機時の懸案事項となっていた、海外店の一元管理態勢の構築や、信用リスク管理

の高度化を進めました。さらに本部人員・営業店の事務人員を営業人員にシフトして、営業力の強化につなげたほか、業務プロセスの改善や営業店事務の本部集中化により、効率性も高まりました。喫緊の課題であった若手行員の育成についても、研修を充実させた成果が出始めており、トップクラスの営業成績をあげる者も出ています。

新中期経営計画について

谷本：前中期経営計画の成果を踏まえて、今年度から、第11次中期経営計画「フロンティア70」がスタートしました。そのねらいについて教えてください。

佐久間：「フロンティア70」では、まず地域への円滑な資金供給や営業支援などにより、地域経済の復興に全力をあげます。さらに長期的には、高いポテンシャルをもつ「広域千葉圏」の成長に積極的に貢献していきます。

また、本中期経営計画では、「営業態勢の強化」「地域経済への積極的な貢献」「経営管理態勢の高度化」「人材育成の充実」という4つの経営課題を掲げました。これらの課題に沿って様々な施策を実施し、将来の環境変化に耐えうる磐石な営業基盤・経営基盤を構築していくことをねらいとしています。

急速な高齢化とそれに伴う顧客ニーズの変化、金融機関間の競争の激化、金融規制の強化など我々をとりまく環境が大きく変わる中で、前例に捕らわれていると、スピード感や競争力が瞬





取締役頭取 佐久間 英利

昭和51年当行入行。市場営業部長、経営企画部長を歴任し、平成15年6月取締役就任。取締役経営企画部長、取締役常務執行役員本店営業部長、取締役常務執行役員を経て平成21年3月取締役頭取に就任。

く間に失われていきます。平成25年3月に当行が70周年を迎えるにあたり、進むべき道を自ら切り開き、これまでの限界を超えた新たな領域に踏み出していく、全職員がそのようなフロンティア精神をもって仕事をしてもらいたいと考え、名称を「フロンティア70」としました。

営業戦略について

谷本：営業面では、具体的にどのような取組みをされていますか。

佐久間：今年6月に「地域営業部」を設置し、地域情報の収集・発信機能や産官学連携に積極的に関わる態勢などを強化しました。さらに「法人営業部」の設置により、環境、医療・介護といった成長分野のお客さまへの営業支援や民間資金を活用した社会資本整備への取組みを強化していきます。

また、国内市場の縮小により、お客さまの海外進出の動きが加速すると見られます。2月からタイのバンコック銀行に行員を派遣したほか、3月にはシンガポール駐在員事務所を開設するなど、アジアでのお客さまへのサポート態勢を強化しました。また、国内全店で人民元建て外国送金の取扱いも始めました。

資産運用のご相談には、資産運用や税務などに関する専門知識をもった「クライアント・アドバイザー」を今期から営業店に配置するほか、完全子会社化する予定の「ちばぎん証券」との連携を一層高め、お客さまの多様なニーズにお応えしてまいります。

店舗展開については、昨年度は、建物の老朽化や街の中心部の変遷に合わせて、建替えや移転を積極的に進めました。建替えにあたっては、相談専門窓口「コンサルティングラウンジ」の設置など相談業務のスペースをより充実させた店舗づくりのほか、365日利用可能な全自動貸金庫や、総合案内窓口「コンシェルジュカウンター」といった新たな取組みを始めています。

管理面・人材育成について

谷本：管理面や人材育成ではどのような取組みを考えていらっしゃいますか。

佐久間：大震災では、決済システムの維持という役割の重さを痛感しました。震災で明らかになった課題を整理し、災害時の業務継続態勢の実効性を高めていきます。

また、これまで商品・サービスやネットワークの拡大を進めてきましたが、今後は一層経営効率を念頭に置いた対応が必要であると思っています。地域や商品毎の収益性を精緻に分析し、店舗配置や商品ラインナップの向上を図る一方で、業務の廃止も含む徹底的な経費削減を行い、経営資源の有効活用と収益力の向上を図ります。6月には「経営管理部」を創設し、人件費と物件費を一体で管理する態勢を整えました。

人材育成についても、当行では若手行員の早期戦力化を最優先課題として、各種研修の充実に取り組んできましたが、今後は知識の定着と実践的なスキルの向上に向けて、現場での人材育成

谷本 有香さん

証券会社、Bloomberg TVを経て、平成17年から日経CNBCキャスター、平成23年5月よりコメンテーターとして従事。経営学修士。



にも力を入れていきます。

また、若手行員や女性職員を積極的に登用し、組織の活力を高めます。当行には優秀な女性が多いので、営業店はもちろん、企画や市場部門など本部でも大いに活躍してもらいたいと考えています。

千葉銀行に求められるもの

谷本：それはとても楽しみです。御行の今後に期待しています。高いポテンシャルを持つ「広域千葉圏」のトップバンクとして、千葉銀行には何が求められているとお考えですか。

佐久間：高齢化による国内市場の縮小が危惧される中で、地域のお客さまの情報やネットワークを持っている当行が、地域の持続的な成長に向けて、積極的に情報発信やお客さま間の連携を



コーディネートすることが必要だと考えます。例えば、小売業、金融機関、病院が入った複合商業施設を建設することや、自治体や大学等研究機関と連携し企業誘致や産業集積の形成を図るといった取組みに、積極的に関与することが考えられるでしょう。

また足元では、震災の影響を受けた地場産業を応援するために、千葉県の「がんばろう千葉」キャンペーンにも参加しています。5月には当行本店の駐車場で千葉県産品の直売会を開催し、出店者、来場者双方からご好評をいただきました。

谷本：今後、金融機関をとりまく環境は一層厳しくなり、不確実性も高まっています。千葉銀行がその中で勝ち残っていくためには、何が必要でしょうか。

佐久間：いろいろな問題が複雑にからみあって、五里霧中を行くような時代ですから、「お客さま第一」という基本に立ち返ることが必要です。全ての業務がお客さまのためであることを常に意識し、全ての業務をお客さまの目線で見直し、スピード感をもって改善していく以外に、特別な方策はないと考えています。

お客さま第一主義の下で、実行重視、スピード重視で行内の改革を進めています。業務運営の上でもこのスピード感を加速させ、サービスの進化で他行を凌駕し、お客さまからご支持いただける「リテールトップバンク」を目指していきます。

本日はありがとうございました。

第11次中期経営計画

「フロンティア70」

(計画期間：2011年4月1日～2014年3月31日)

お客さま第一主義の下、地域のお客さまのご期待に応えうる創造性に溢れた「リテールトップバンク」を目指します。

課題Ⅰ 営業態勢の強化

地域における当行の存在感を圧倒的なものとするため、営業担当者の役割の明確化や提案力の強化、積極的な営業展開により、シェアの向上を図ります。

課題Ⅱ 地域経済への積極的な貢献

金融円滑化への取組みに加え、地域情報の発信機能の向上や産官学連携に向けた主体的な取組みをつうじ、地域経済の復興・発展に向けた貢献を積極的に行います。

課題Ⅲ 経営管理態勢の高度化

コンプライアンスの徹底やリスク管理態勢の高度化により、強固な経営基盤を構築します。さらに、生産性向上や大胆なコスト削減を進め、当期純利益の引上げを図ります。

課題Ⅳ 人材育成の充実

研修に加え効果的なOJTを実施するなど、人材育成の手法を改善・充実させます。さらに、職員のスキル・適性に応じた配置や女性職員の登用を積極的に行い、組織力を高めます。

コミットメント150

計画期間3年(150週間)の間に、リテールトップバンクを実現するための取組みを150項目定め、確実に実行します。

- ・従来のやり方や経験に安住することなく、全ての業務を新たな視点から見直します。
- ・全役職員の総力を結集し、スピード感をもって実行します。
- ・実施項目は、進捗状況や外部環境の変化に応じて適宜見直し、常に150項目の取組みを実行していきます。

2013年度計数計画

コア業務純益	単体当期純利益	連結当期純利益	OHR	連結自己資本比率 (バーゼルⅢベース)
880億円	470億円	500億円	50%未満	13%程度

課題Ⅰ 営業態勢の強化

- 営業担当者の役割を明確にし、ITなども活用した効率的・効果的な営業活動を行います。また、お客さまの新たな事業展開や販路拡大の支援、運用等に関する提案力を強化し、シェアの向上を図ります。
- 債権担保融資など多様な貸出手法の活用や、消費者ニーズに合った各種ローン商品の提供により、貸出金の増強を図ります。
- お客さまのニーズの変化を捉え、迅速に商品等に反映させる態勢を構築します。また、お客さまとのコミュニケーションを強化し、期待を上回るサービスをタイムリーに提供します。
- 預貸金動向を踏まえ、収益を安定的に確保する市場運用に努めます。
- グループ会社、他金融機関との連携により、サービスの高度化、経営体質の強化を図ります。

営業推進の強化

商品・サービス提供力の強化

CS向上活動の充実

運用力の強化

グループ会社との連携強化

戦略的提携の推進

課題Ⅱ 地域経済への積極的な貢献

- 地域の開発情報の収集・発信機能を強化します。また、研究機関や自治体との連携を強化し、新たな街づくりや産業集積の形成に主体的に取り組んでいきます。
- 返済負担の軽減だけでなく、コンサルティング機能を発揮した実効性のある経営改善計画の策定・実施を支援します。
- 環境保全活動などCSR活動の一層の充実を図ります。

地域経済の総合的発展に向けた寄与

金融円滑化に向けた取組みの高度化

CSR活動のさらなる充実

課題Ⅲ 経営管理態勢の高度化

- コンプライアンス意識の徹底とモニタリング・業務の改善等を継続します。
- 災害時も決済機能を維持できる強固な業務継続態勢を構築します。また、バーゼルⅢや国際会計基準の導入といった規制環境の変化にも的確に対応します。
- 地域・商品などに応じた収益性分析を精緻に行い、店舗展開や商品戦略において、経営資源をより効率的に利用します。また、業務自体の削減など、抜本的な経費削減を実施します。

コンプライアンスの徹底

経営管理態勢の改革

顧客保護等管理態勢の強化

業務の生産性向上とローコストオペレーションの徹底

課題Ⅳ 人材育成の充実

- 営業現場での人材育成を強化し、実践力の向上を図ります。
- 外部人材の登用や若手職員の出向により、多様性のある企業風土を作ります。
- 職員のスキルをより詳細に把握し、適性に応じた配置を行います。さらに、若手職員や女性職員の育成や登用により、組織の活性化を行います。

質の高い金融サービスを提供する人材の育成

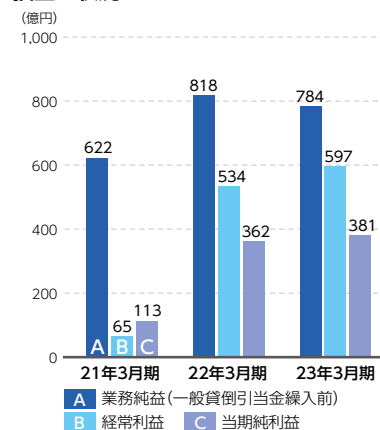
スキル・適性に応じた配置による組織力の強化

平成23年3月期 業績のご報告

損益の状況

運用利回りの低下による資金利益の減少等から、業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は前期比33億円減少し、784億円となりました。一方で信用コストの減少等により、経常利益は前期比63億円増加の597億円、当期純利益は19億円増加の381億円となりました。

損益の状況



用語解説

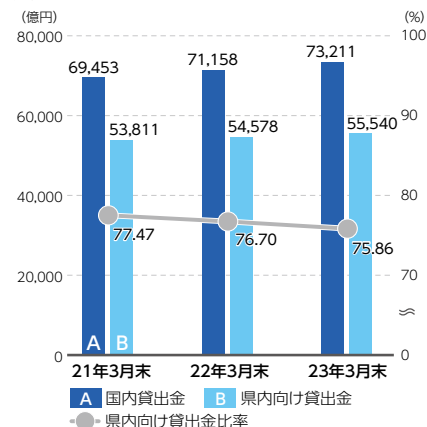
業務純益(一般貸倒引当金繰入前)

業務純益(一般貸倒引当金繰入前)とは、預金・貸出金など銀行の基本的な業務の成果を示す銀行固有の利益指標です。これは、預金・貸出金などの収支を示す「資金利益」、各種手数料収支を示す「役務取引等利益」、市場業務取引等の損益を示す「特定取引利益」、債券や外国為替の売買損益を示す「その他業務利益」の4つを合計した「業務粗利益」から、臨時経費を除く「経費」を控除したものです。なお、この業務純益(一般貸倒引当金繰入前)は、損益計算書の中には記載されません。

貸出金の状況

地域のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えしました結果、中小企業向け貸出金や住宅ローンが堅調に推移し、国内貸出金は前期末比2,052億円増加し、7兆3,211億円、県内向け貸出金は前期末比961億円増加し、5兆5,540億円となりました。

貸出金の状況

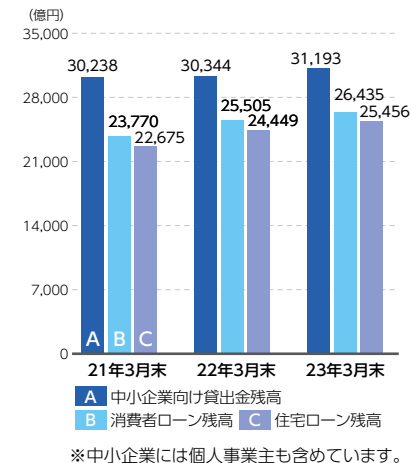


中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況

金融円滑化に向けた取組みはもちろんのこと、中小企業のお客さまに対するコンサルティング機能の強化に努めました結果、中小企業向け貸出金残高は前期末比849億円増加し、3兆1,193億円となりました。

また、新規出店による営業地域の拡大効果や、お客さまの住宅資金ニーズに積極的にお応えしました結果、住宅ローン残高は前期末比1,006億円増加し、2兆5,456億円となりました。

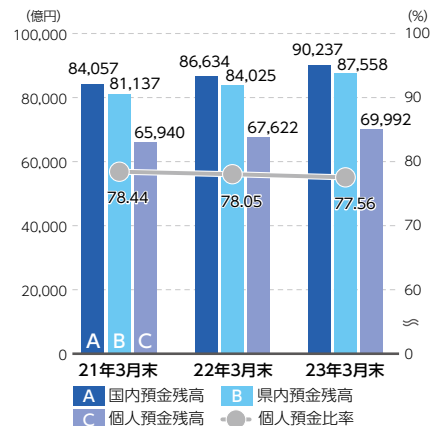
中小企業向け貸出金・消費者ローンの状況



預金の状況

給与振込口座や年金受取口座など「家計のメインバンク」としてご利用いただくことを目指して活動しました結果、個人預金残高は前期末比2,370億円増加し、6兆9,992億円となりました。

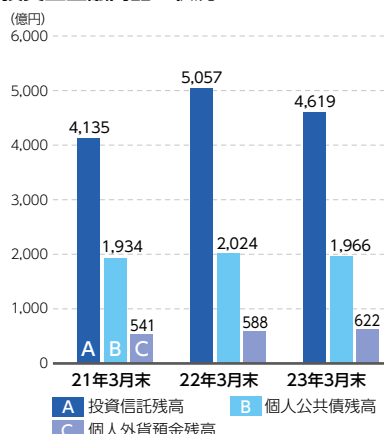
預金の状況



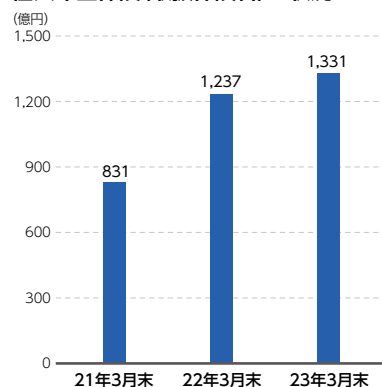
投資型金融商品の状況

震災による株式相場の下落等により、投資信託残高は前期末比438億円減少し、4,619億円となりました。一方で、お客さまのご要望に応じた商品提案を行いました結果、個人年金保険の取扱保険料は、前期末比93億円増加し、1,331億円となりました。

投資型金融商品の状況



個人年金保険(取扱保険料)の状況



自己資本比率

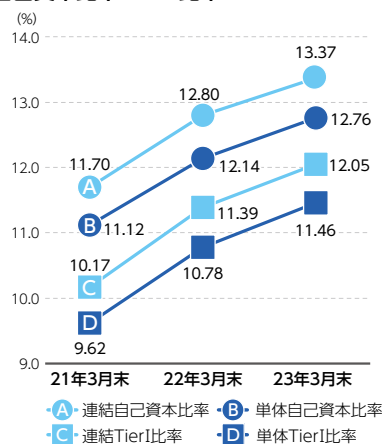
自己資本比率は、ちばぎんグループ連結で13.37%、当行単体で12.76%となり、海外に営業拠点を持つ銀行に求められる国際統一基準8%以上を充たす十分な水準にあります。また、TierI比率は、連結で12.05%、単体では11.46%となりました。

用語解説

自己資本比率

金融機関の健全性を示すものとして最も広く用いられている指標です。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、自己資本比率を国際統一基準である8%以上にすることが求められています。

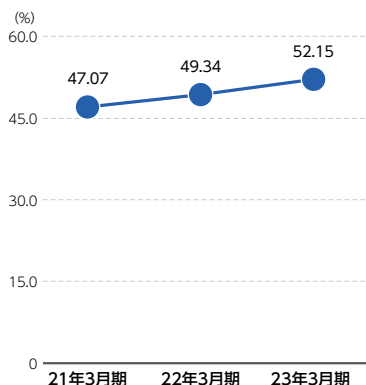
自己資本比率・TierI比率



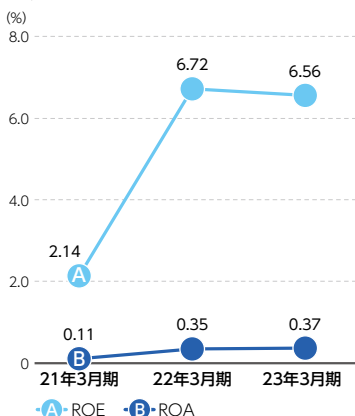
経営指標

銀行経営の効率性を示すOHRは52.15%、資産の運用効率を示すROAは0.37%、資本の効率性を示すROEは6.56%となっています。

OHR



ROE、ROA



用語解説

OHR(オーバー・ヘッド・レシオ)

「経費」を「業務粗利益(一般事業会社では売上高総利益に相当)」で除したもので、数値が低いほど高い効率性・生産性を有することを示しています。

ROA、ROE

ROAとは「当期純利益」を「総資産の平均残高」で除したもので、資産の運用効率を示すものです。また、ROEとは「当期純利益」を「期首純資産の部と期末純資産の部合計÷2」で除したもので、資本の効率性を示すものです。

財務諸表(連結)

連結貸借対照表(単位:百万円)

科目	平成22年3月末	平成23年3月末	科目	平成22年3月末	平成23年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	370,500	569,455	預金	8,774,789	9,103,649
コールローン及び買入手形	69,500	54,700	譲渡性預金	191,226	171,586
買現先勘定	—	9,996	コールマネー及び売渡手形	41,062	23,797
債券貸借取引支払保証金	6,270	—	売現先勘定	146,580	14,998
買入金銭債権	47,492	37,137	債券貸借取引受入担保金	110,905	50,776
特定取引資産	310,517	284,635	特定取引負債	22,591	26,674
金銭の信託	28,959	28,929	借入金	106,025	256,709
有価証券	1,977,849	1,920,113	外国為替	214	480
貸出金	7,130,386	7,346,143	社債	40,000	40,000
外国為替	2,811	3,034	その他負債	94,257	100,237
その他資産	127,609	100,099	役員賞与引当金	56	—
有形固定資産	95,328	96,469	退職給付引当金	19,282	19,238
建物	22,895	22,576	役員退職慰労引当金	1,180	229
土地	65,551	66,005	睡眠預金払戻損失引当金	957	950
建設仮勘定	751	2,299	ポイント引当金	1,119	1,065
その他の有形固定資産	6,130	5,587	特別法上の引当金	27	18
無形固定資産	9,098	9,751	繰延税金負債	38	—
ソフトウェア	6,420	5,805	再評価に係る繰延税金負債	15,245	15,158
その他の無形固定資産	2,678	3,946	支払承諾	90,305	101,429
繰延税金資産	53,239	49,839	負債の部合計	9,655,866	9,926,998
支払承諾見返	90,305	101,429			
貸倒引当金	△58,404	△58,747	(純資産の部)		
			資本金	145,069	145,069
			資本剰余金	123,383	123,380
			利益剰余金	313,990	344,884
			自己株式	△1,257	△6,358
			株主資本合計	581,185	606,975
			その他有価証券評価差額金	5,754	△1,115
			繰延ヘッジ損益	△2,139	△1,259
			土地再評価差額金	7,662	7,548
			その他の包括利益累計額合計	11,277	5,174
			新株予約権	—	108
			少数株主持分	13,135	13,732
			純資産の部合計	605,598	625,990
資産の部合計	10,261,464	10,552,989	負債及び純資産の部合計	10,261,464	10,552,989

連結損益計算書(単位:百万円)

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

科目	平成22年3月期	平成23年3月期
経常収益	234,355	223,649
資金運用収益	162,456	152,315
貸出金利息	139,104	130,604
有価証券利息配当金	22,045	20,571
コールローン利息及び買入手形利息	179	171
買現先利息	12	38
債券貸借取引受入利息	30	4
預け金利息	437	375
その他の受入利息	647	549
信託報酬	1	2
役員取引等収益	39,644	40,035
特定取引収益	3,519	1,614
その他業務収益	5,006	7,116
その他経常収益	23,728	22,563
経常費用	177,484	158,308
資金調達費用	18,456	13,975
預金利息	12,722	8,156
譲渡性預金利息	373	301
コールマネー利息及び売渡手形利息	234	118
売現先利息	230	29
債券貸借取引支払利息	296	167
借入金利息	1,136	1,017
社債利息	761	761
その他の支払利息	2,702	3,423
役員取引等費用	14,759	15,110
その他業務費用	3,315	799
営業経費	87,982	88,017
その他経常費用	52,970	40,405
貸倒引当金繰入額	6,055	5,804
その他の経常費用	46,914	34,601
経常利益	56,870	65,340
特別利益	7,088	5,934
固定資産処分益	42	446
償却債権取立益	7,038	5,478
金融商品取引責任準備金取崩額	7	9
特別損失	603	1,108
固定資産処分損	199	547
減損損失	403	317
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	243
税金等調整前当期純利益	63,356	70,166
法人税、住民税及び事業税	15,667	21,405
法人税等調整額	9,442	7,302
法人税等合計	25,110	28,708
少数株主損益調整前当期純利益	—	41,458
少数株主利益	666	847
当期純利益	37,579	40,611

【平成23年3月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 事業用の土地の再評価は、土地の再評価に関する法律施行令第2条第4号に定める方法により算出。土地の再評価に関する法律第10条に規定する差額 37,008百万円
- 貸出金のうち、破綻先債権額は3,057百万円、延滞債権額は84,501百万円、3か月以上延滞債権額は4,180百万円、貸出条件緩和債権額は54,325百万円、ならびにその合計額は146,064百万円であります。
- 銀行法施行規則第17条の5第1項第3号ロに規定する連結自己資本比率(国際統一基準) 13.37%
- 有形固定資産の減価償却累計額 94,819百万円
- 有形固定資産の圧縮記帳額 11,232百万円
- 担保に供している資産として、特定取引資産、有価証券、貸出金合計額 965,534百万円
- 1株当たり純資産額 692円74銭
- 重要な後発事象
 - 当行及び当行連結子会社のちばぎん証券株式会社は、ちばぎん証券株式会社を当行の完全子会社とするため、平成23年4月28日開催のそれぞれの取締役会において、当行を完全親会社、ちばぎん証券株式会社を完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。
 - 株式交換契約の概要

ちばぎん証券株式会社の普通株式1株に対して、当行の普通株式0.50株を割当て交付いたします。なお、交付する株式は当行が保有する自己株式を充当する予定であり、新株式の発行は行わない予定です。

本株式交換は、当行においては会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより本株式交換契約について株主総会による承認を受けずに、また、ちばぎん証券株式会社においては平成23年6月29日開催の定時株主総会の決議による承認を受け、平成23年10月1日を効力発生日として行う予定です。
 - 当行は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、平成23年4月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。
 - 取得対象株式の種類 当行普通株式
 - 取得する株式の総数 12,000,000株(上限)
 - 株式の取得価額の総額 6,000百万円(上限)
 - 取得期間 平成23年5月2日から平成23年6月17日まで

なお、上記取得期間中に自己株式の取得を次のとおり実施し同取締役会決議に基づく取得を終了いたしました。

 - 取得対象株式の種類 当行普通株式
 - 取得した株式の総数 12,000,000株
 - 株式の取得価額の総額 5,821百万円
- 1株当たり当期純利益金額 45円65銭
- 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 45円64銭
- 連結包括利益計算書における包括利益の金額 35,405百万円

財務諸表(単体)

貸借対照表(単位:百万円)

科目	平成22年3月末	平成23年3月末	科目	平成22年3月末	平成23年3月末
(資産の部)			(負債の部)		
現金預け金	369,978	569,198	預金	8,805,261	9,138,396
現金	87,486	125,992	当座預金	176,413	175,434
預け金	282,491	443,206	普通預金	4,749,513	5,078,354
コールローン	65,000	50,000	貯蓄預金	248,637	242,828
買現先勘定	—	9,996	通知預金	6,698	6,330
債券貸借取引支払保証金	6,270	—	定期預金	3,471,022	3,479,875
買入金銭債権	37,967	28,459	その他の預金	152,976	155,572
特定取引資産	310,106	284,217	譲渡性預金	191,226	171,586
商品有価証券	16,056	9,061	コールマネー	41,062	23,797
商品有価証券派生商品	10	—	売現先勘定	146,580	14,998
特定金融派生商品	21,452	26,889	債券貸借取引受入担保金	110,905	50,776
その他の特定取引資産	272,586	248,266	特定取引負債	22,591	26,668
金銭の信託	26,059	25,729	売付商品債券	1,694	—
有価証券	1,977,634	1,920,351	商品有価証券派生商品	30	13
国債	865,888	866,913	特定金融派生商品	20,866	26,654
地方債	287,899	323,250	借入金	105,100	255,810
社債	307,458	264,965	借入金	105,100	255,810
株式	154,081	141,608	外国為替	214	480
その他の証券	362,306	323,613	売渡外国為替	196	435
貸出金	7,158,314	7,371,452	未払外国為替	18	44
割引手形	21,544	22,620	社債	40,000	40,000
手形貸付	193,076	170,692	その他負債	60,350	67,797
証書貸付	6,315,461	6,572,872	未決済為替借	22	6
当座貸越	628,231	605,267	未払法人税等	7,507	12,013
外国為替	2,811	3,034	未払費用	14,688	12,620
外国他店預け	1,911	2,156	前受収益	2,836	2,707
買入外国為替	451	190	先物取引差金勘定	1	—
取立外国為替	447	686	金融派生商品	19,196	17,862
その他資産	81,015	57,553	資産除去債務	—	227
未決済為替貸	980	814	その他の負債	16,096	22,359
前払費用	119	93	役員賞与引当金	50	—
未収収益	12,428	11,297	退職給付引当金	18,820	18,747
先物取引差入証拠金	113	46	役員退職慰労引当金	1,009	—
先物取引差金勘定	—	12	睡眠預金払戻損失引当金	957	950
金融派生商品	14,589	16,115	ポイント引当金	857	808
その他の資産	52,783	29,174	再評価に係る繰延税金負債	15,245	15,158
有形固定資産	88,779	91,028	支払承諾	62,004	75,415
建物	20,513	20,971	負債の部合計	9,622,237	9,901,391
土地	62,533	63,086	(純資産の部)		
建設仮勘定	751	2,292	資本金	145,069	145,069
その他の有形固定資産	4,981	4,678	資本剰余金	122,134	122,134
無形固定資産	8,916	9,586	資本準備金	122,134	122,134
ソフトウェア	6,266	5,660	利益剰余金	294,792	323,197
その他の無形固定資産	2,650	3,925	利益準備金	50,930	50,930
繰延税金資産	45,838	42,049	その他利益剰余金	243,862	272,267
支払承諾見返	62,004	75,415	別途積立金	202,971	230,971
貸倒引当金	△ 46,676	△ 47,493	繰越利益剰余金	40,891	41,296
資産の部合計	10,194,020	10,490,582	自己株式	△ 1,257	△ 6,358
			株主資本合計	560,738	584,042
			その他有価証券評価差額金	5,520	△ 1,250
			繰延ヘッジ損益	△ 2,139	△ 1,259
			土地再評価差額金	7,662	7,548
			評価・換算差額等合計	11,043	5,039
			新株予約権	—	108
			純資産の部合計	571,782	589,190
			負債及び純資産の部合計	10,194,020	10,490,582

損益計算書(単位:百万円)

(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

科目	平成22年3月期	平成23年3月期
経常収益	206,662	197,328
資金運用収益	161,734	151,626
貸出金利息	138,163	129,777
有価証券利息配当金	22,430	20,864
コールローン利息	169	166
買現先利息	12	38
債券貸借取引受入利息	30	4
預け金利息	437	375
その他の受入利息	491	399
信託報酬	1	2
役務取引等収益	31,371	31,717
受入為替手数料	7,727	7,523
その他の役務収益	23,644	24,194
特定取引収益	3,053	1,144
商品有価証券収益	436	21
特定取引有価証券収益	10	—
特定金融派生商品収益	1,336	554
その他の特定取引収益	1,270	568
その他業務収益	5,000	7,109
外国為替売買益	2,466	1,929
国債等債券売却益	2,154	4,760
金融派生商品収益	379	419
その他の業務収益	0	0
その他経常収益	5,500	5,726
株式等売却益	1,918	474
金銭の信託運用益	259	655
その他の経常収益	3,322	4,596
経常費用	153,192	137,541
資金調達費用	18,468	13,967
預金利息	12,792	8,186
譲渡性預金利息	373	301
コールマネー利息	234	118
売現先利息	230	29
債券貸借取引支払利息	296	167
借入金利息	1,130	1,009
社債利息	761	761
金利スワップ支払利息	2,529	3,247
その他の支払利息	118	145
役務取引等費用	17,237	17,603
支払為替手数料	1,507	1,510
その他の役務費用	15,729	16,093
その他業務費用	3,315	799
国債等債券売却損	616	731
国債等債券償還損	1,443	—
国債等債券償却	1,069	67
その他の業務費用	186	—
営業経費	82,918	82,844
その他経常費用	31,253	22,327
貸倒引当金繰入額	1,450	3,353
貸出金償却	22,288	11,416
株式等売却損	2,770	1,414
株式等償却	322	3,653
金銭の信託運用損	216	317
その他の経常費用	4,205	2,170
経常利益	53,469	59,786
特別利益	7,038	5,452
固定資産処分益	41	—
償却債権取立益	6,997	5,452
特別損失	564	1,053
固定資産処分損	188	520
減損損失	376	304
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	227
税引前当期純利益	59,944	64,185
法人税、住民税及び事業税	13,120	18,417
法人税等調整額	10,603	7,642
法人税等合計	23,724	26,059
当期純利益	36,220	38,125

【平成23年3月期注記】

- 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。
- 事業用の土地の再評価は、土地の再評価に関する法律施行令第2条第4号に定める方法により算出。土地の再評価に関する法律第10条に規定する差額 37,008百万円
- 貸出金のうち、破綻先債権額は3,206百万円、延滞債権額は83,851百万円、3か月以上延滞債権額は4,180百万円、貸出条件緩和債権額は54,269百万円、ならびにその合計額は145,507百万円であります。
- 銀行法施行規則第19条の2第1項第3号ロ(10)に規定する単体自己資本比率(国際統一基準) 12.76%
- 有形固定資産の減価償却累計額 91,050百万円
- 有形固定資産の圧縮記帳額 10,343百万円
- 担保に供している資産として、特定取引資産、有価証券、貸出金合計額 964,797百万円
- 1株当たり純資産額 666円63銭
- 重要な後発事象
 - 当行及び当行連結子会社のちばぎん証券株式会社は、ちばぎん証券株式会社を当行の完全子会社とするため、平成23年4月28日開催のそれぞれの取締役会において、当行を完全親会社、ちばぎん証券株式会社を完全子会社とする株式交換を行うことを決議し、同日付で株式交換契約を締結いたしました。
 - 株式交換契約の概要

ちばぎん証券株式会社の普通株式1株に対して、当行の普通株式0.50株を割当て交付いたします。なお、交付する株式は当行が保有する自己株式を充当する予定であり、新株式の発行は行わない予定です。

本株式交換は、当行においては会社法第796条第3項の規定に基づく簡易株式交換の手続きにより本株式交換契約について株主総会による承認を受けずに、また、ちばぎん証券株式会社においては平成23年6月29日開催の定時株主総会の決議による承認を受け、平成23年10月1日を効力発生日として行う予定です。
 - 当行は、経営環境の変化に対応した機動的な資本政策の遂行を可能とするため、平成23年4月28日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式を取得することを決議いたしました。
 - 取得対象株式の種類 当行普通株式
 - 取得する株式の総数 12,000,000株(上限)
 - 株式の取得価額の総額 6,000百万円(上限)
 - 取得期間 平成23年5月2日から平成23年6月17日まで

なお、上記取得期間中に自己株式の取得を次のとおり実施し同取締役会決議に基づく取得を終了いたしました。

 - 取得対象株式の種類 当行普通株式
 - 取得した株式の総数 12,000,000株
 - 株式の取得価額の総額 5,821百万円
- 1株当たり当期純利益金額 42円86銭
- 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額 42円84銭

資産健全化への対応と再生支援

資産健全化への対応

当行では、不良債権の適切な処理、不良債権の新規発生防止、取引先の財務改善支援等により、常に資産の健全性の維持・向上に努めています。

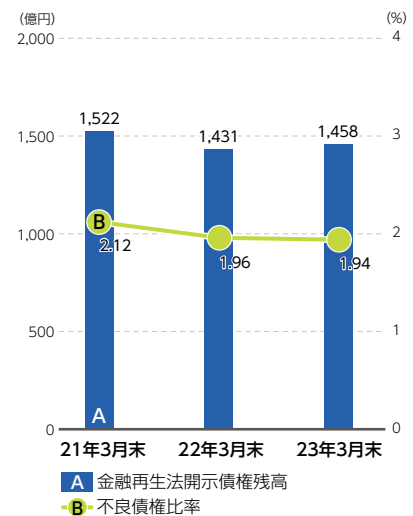
不良債権とは、金融機関が有している貸出などの債権のうち、企業倒産や業績不振などのため、元本や利息の回収に懸念のある債権を指しています。

貸出金等からの利息収入は、銀行の収益の根幹であります。しかし、貸出金の回収が困難になると、銀行の財務内容に大きな影響を及ぼすことになりかねません。そのため審査体制や信用リスク管理体制の整備・充実を進めています。

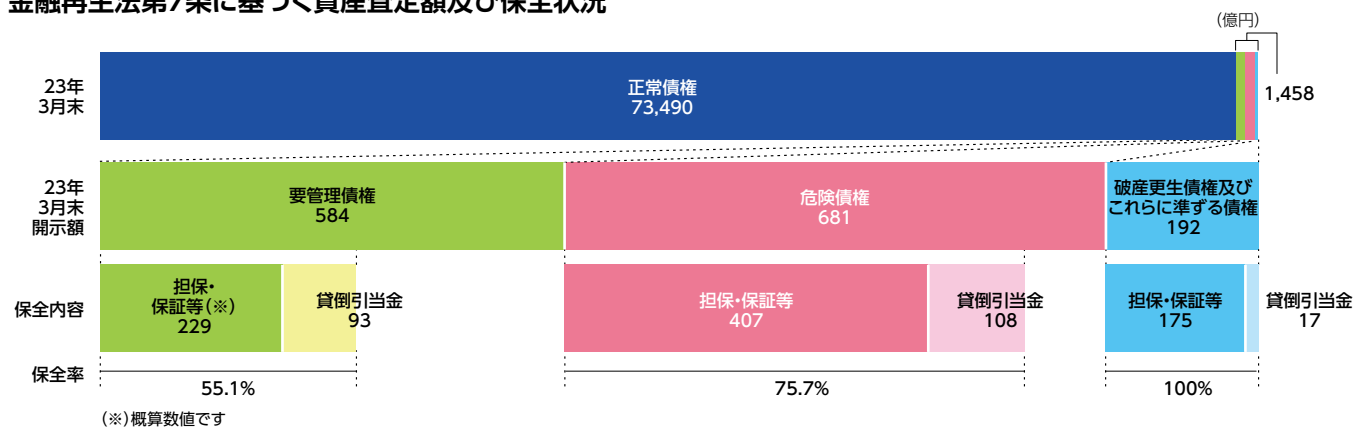
平成23年3月末時点の金融再生法開示債権残高は、前期末比27億円増加し1,458億円となったものの、不良債権比率は前期末比0.01ポイント低下し1.94%となっています。

平成22年度には668先のお取引先の経営改善支援に取組み、そのうち44先のお取引先の債務者区分がランクアップしました。

不良債権比率の推移



金融再生法第7条に基づく資産査定額及び保全状況



自己査定と債務者区分

資産の自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分することです。貸出金をはじめとする資産を、その信用力に応じて、「正常先」「要注意先」「破綻懸念先」「実質破綻先」「破綻先」の5つに区分しています。なお、「要注意先」の中で、貸出条件を緩和している先などを「要管理先」として区分しています。

債務者区分

正常先	業況良好かつ財務内容にも特段の問題がないと認められる債務者
要注意先	赤字決算など、業況が低調・不安定になるなど今後の管理に注意を要する債務者
破綻懸念先	現状経営破綻の状態にはないが、今後経営破綻に陥る可能性が大きいと認められる債務者
実質破綻先	法的、形式的な経営破綻の事実は発生していないものの、実質的に経営破綻の状況に陥っている債務者
破綻先	破産、清算、会社整理、会社更生、民事再生などの事由により経営破綻の状況に陥っている債務者

不良債権の処理

当行はこれまで、厳格な自己査定結果に基づき、各決算期毎に償却・引当等、適切な不良債権処理を行ってきました。なお、要管理先及び破綻懸念先債権のうち大口先に対しては、DCF法*による貸倒引当金の算定を行っています。

また、貸倒引当金については、「破綻先債権」「実質破綻先債権」は担保等で保全されていない債権額の全額、「破綻懸念先債権」は原則として過去の貸倒実績率に基づき算定した予想損失額を計上しています。担保・保証に引当金を加えたもので算定した保全率は、金融再生法開示債権ベースで70.6%と高い水準を確保しており、今後の損失発生懸念は限定的なものとなっています。

*DCF法：債権の元本の回収及び利息の受取に係るキャッシュ・フローを合理的に見積ることができる債権について、当該キャッシュ・フローを当初の約定利率で割り引いた金額と債権の帳簿価額との差額を貸倒引当金とする方法です。

不良債権の開示

不良債権の開示には、「銀行法に基づくリスク管理債権(以下、リスク管理債権)」と、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律(金融再生法)に基づく資産査定による開示債権(以下、金融再生法開示債権)」とがあります。

なお、リスク管理債権は貸出金のみを開示対象としているのに対し、金融再生法開示債権は、要管理債権を除き、貸出金以外の支払承諾見返、未収利息、外国為替などを含んでいます。

リスク管理債権

リスク管理債権は、自己査定の破綻先を「破綻先債権」、実質破綻先と破綻懸念先を「延滞債権」、要注意先のうち3カ月以上延滞しているものについて「3カ月以上延滞債権」、貸出条件を緩和しているものについて「貸出条件緩和債権」として計上する方法をとっています。

リスク管理債権(単体)

(単位：億円)

	平成22年3月末	平成23年3月末
破綻先債権額	85	32
延滞債権額	806	838
3カ月以上延滞債権額	35	41
貸出条件緩和債権額	499	542
合計	1,426	1,455

リスク管理債権(連結)

(単位：億円)

	平成22年3月末	平成23年3月末
破綻先債権額	81	30
延滞債権額	821	845
3カ月以上延滞債権額	35	41
貸出条件緩和債権額	500	543
合計	1,439	1,460

金融再生法開示債権

金融再生法開示債権は、自己査定の破綻先・実質破綻先を「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、破綻懸念先を「危険債権」、要管理先のうち3カ月以上延滞債権または貸出条件緩和債権に該当するものを「要管理債権」として開示しています。

金融再生法開示債権(単体)

(単位：億円)

	平成22年3月末	平成23年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	289	192
危険債権	606	681
要管理債権	535	584
合計	1,431	1,458
正常債権	71,370	73,490

用語解説

破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

要管理債権

「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」を除く3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権です。

トピックス

店舗の新設及び移転

お客さまの利便性を高めるべく積極的に店舗展開を行っています。

〈新設〉

店舗名	オープン年月
シンガポール駐在員事務所	平成23年 3月
三郷中央支店	3月
印西牧の原支店(店舗内店舗)	5月
越谷レイクタウン支店	6月
四街道南支店(店舗内店舗)	7月

〈移転〉

店舗名	オープン年月
中山支店	平成23年 1月
鎌ヶ谷支店	2月
安食支店	2月
千葉ニュータウン支店	3月
木更津東支店	11月予定
木更津支店	平成24年 2月予定

シンガポール駐在員事務所の開設



平成23年3月、当行5番目の海外拠点「シンガポール駐在員事務所」を開設しました。当事務所では、主にアセアン諸国・インド・オセアニア地域で事業を展開されているお客さまなどに情報提供・営業支援を行うほか、国際金融情報を国内の営業店をつうじてお客さまに発信してまいります。

方をご紹介するとともに、貯蓄に関する疑問、銀行の活用方法等をわかりやすく解説した内容となっています。(店頭での配布やホームページでの掲載に加え、県内各所で配布しています。)

ちばぎん証券株式会社の完全子会社化

当行は、連結子会社であるちばぎん証券株式会社を、平成23年10月1日付で完全子会社化することを決定しました。これにより、当行グループ内の人材交流や店舗ネットワークの活用など効率的な経営を図り、多様化しているお客さまの金融ニーズに、これまで以上に適切かつきめ細かく対応してまいります。

貯活BOOK



貯活BOOKは、「就職」「結婚」「子育て」など、お客さまのライフイベントに合わせたお金の貯め

「チーバくん」デザイン通帳



平成23年5月より、子育て応援積立定期としてご好評いただいている「積立式定期預金(はぐくみ)」の専用通帳デザインに、千葉県のマスコットキャラクターである「チーバくん」を採用しました。

CSRへの取組み

ちばぎんグループは地域に根ざした金融機関として、
その社会的責任を果たすために
さまざまな取組みを展開しております。



地域とともに成長する「ちばぎんグループ」であるために

ちばぎんグループは、地域に根ざした地方銀行グループとして、地域密着型金融の推進、金融円滑化への対応といった金融仲介機能の発揮に加え、持続可能な地域社会の実現に向けて、CSR(企業の社会的責任)を念頭に置いたさまざまな活動を実施しております。

社会貢献活動では、「未来を育む」をキーワードとした「ひと」「環境」「産業」の育成に資する各種取組みを積極的に展開しております。また、地元千葉県が行う「がんばろう千葉」キャンペーンの趣旨に賛同し、事業活動におけるビジネスマッチング機能を活用した県産品の直売会「ちばぎんマルシェ」や県内企業と学生を応援する「千葉県29大学合同 就職セミナー2011」などの開催により、お客さまからご好評をいただきました。

今後も地域とともに成長できるよう、グループ役職員一同がCSRをしっかりと認識し、地域に貢献する各種活動を積極的に展開してまいります。

取締役専務執行役員
CSR推進室長

伊東 正

ちばぎんグループのCSRコンセプト

ちばぎんグループにおける取組み

ちばぎんグループは、本業等をつうじて全てのステークホルダーの皆さまからの期待にお応えするとともに、持続可能な地域社会の実現に貢献できるよう「グループCSR活動方針」を掲げ、グループ役職員一丸となってCSR活動に取り組んでいます。

グループCSR 活動方針

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、金融仲介機能の発揮等の本業に加え、誠実かつ公正な企業活動、気候変動等環境問題など地域社会を取り巻く様々な課題解決に向けた活動等に、グループ役職員一人ひとりが当事者という意識を持って、積極的に取り組んでまいります。

そして、これら当行グループの取組みの情報開示をつうじ、ステークホルダーの皆さまとのより良い関係作りに注力いたしますとともに、「新たな地域社会の姿」を皆さまと描いてまいります。

ちばぎんグループのCSRコンセプト

ちばぎんグループは、持続可能な地域社会実現のため、CSR活動に積極的に取り組んでまいります。

お客さま満足度(CS)の向上
コンプライアンス

金融仲介機能の発揮 (本業)

地域密着型金融の推進、金融円滑化への対応等、地域への円滑な資金供給に注力してまいります。

地域社会への貢献 (社会貢献活動)

「未来を育む」をキーワードに、「ひと」「環境」「産業」の育成に資する社会貢献活動を展開してまいります。

人材育成の強化

役職員一人ひとりが、お客さまのニーズに的確にお応えできる意識・スキルを身に付けてまいります。

東日本大震災に対する取組み

復興に向けた取組み

東日本大震災により、千葉県においても津波や液状化等で甚大な被害を受けました。ちばぎんグループは、復興に向けた様々な取組みを積極的に展開しています。(平成23年6月1日現在)

■ 義援金、救援物資の提供

- 義援金 総額約65百万円(当行から54百万円、役職員・OBから11百万円)
- 救援用タオル 約11,000枚
- 飲料水 ペットボトル400本

■ 被災された方々、震災の影響を受けた事業者への支援に関する取組み

- 被災者相談窓口の設置(平日:国内全ての営業店、休日:コンサルティングプラザ千葉・船橋・柏 等)

- 支援融資制度の創設
- 紛失した通帳・キャッシュカード等の再発行手数料の無料化
- 被災地域から避難されている方々を対象とした他行預金払戻の特別措置
- ビジネスマッチング機能の活用による仕入先・販売先や協力業者などの紹介
- 観光支援情報の提供、観光施設利用の呼びかけ
- 風評被害に関するご相談・情報提供 等

節電への取組み

当行では、東日本大震災に伴う電力需給逼迫に対して、節電への取組みを積極的に行っています。

- 電飾ポスターケース・照明・空調・パソコン等の節電
- クールビズの拡大実施
- 使用電力を把握・管理するディマンドメーターの設置 等

「がんばろう千葉」キャンペーンへの取組み

当行は、千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンに参加し、地域と一体になって千葉県を元気にしてまいります。

ちばぎんマルシェの開催



平成23年5月、千葉県産品の風評被害を払拭し、県内の農業生産者・食品加工業者を応援する取組みとして、当行本店駐車場を開放した「ちばぎんマルシェ(千葉県農産品販売フェア)」を開催しました。当日は、約3千人のお客さまが来場し、新鮮な野菜や、菓子・缶詰、地酒などをお買い求めいただきました。

がんばろう千葉 観光応援定期預金の取扱い



震災により影響を受けている観光産業を応援する取組みとして、平成23年6月の1ヶ月間限定にて、抽選で「県内宿泊施設限定ペア宿泊券」をプレゼントする「がんばろう千葉 観光応援定期

預金」をお取扱いしました。当選者に本宿泊券にて県内宿泊施設をご利用いただくことで、千葉県の観光産業応援の輪を広げていきたいと考えています。

クールビズにあわせた「がんばろう千葉」キャンペーンへの取組み

平成23年6月より、クールビズを一層進めた節電ビズの取組みを始めました。女性行員へのクールビズ対応ソフトジャケットの貸与のほか、男性行員に「がんばろう千葉」キャンペーンのロゴマーク入りポロシャツの着用を推奨し、販売代金の一部は県内被災地支援のために寄付します。



千産千消(地産地消)と本店食堂メニューの価格改定分の寄付

当行では、千葉県産品を積極的に消費する「千産千消(地産地消)」を推進しています。また、本店食堂メニューの売上代金の一部等を千葉県の復興支援のため寄付します。

社会貢献活動の取組み

ひとの未来を育む

金融教育の普及

金融教育の普及を目的に、地元中学校への金融教育出張授業、高校生を対象とした金融経済に関するイベントの開催、大学での銀行業務等に関する寄付講座などを実施しています。



エコノミクス甲子園千葉大会の開催

平成22年12月、県内の高校生を対象とした金融経済に関するクイズ大会「エコノミクス甲子園千葉大会」を当行本店にて開催しました。当日は、県内11校から22チーム、43名の生徒が参加し、熱戦が繰り広げられました。



平成22年度文部科学省「キャリア教育優良教育委員会・学校・企業及びPTA団体等文部科学大臣表彰」の受賞

「職員子弟の職場見学会(キッズ探検隊)」「地元中学生の職場体験受入れ」「金融教育出張授業の実施」「教員向け銀行業務研修の実施」等の取組みが認められ受賞しました。



投資信託販売額の一定割合を寄付

当行では、販売している投資信託「ワールドサポーター」の新興国を応援するという商品コンセプトに基づき、半年毎に販売額の一定割合を寄付しています。平成23年5月には、国際開発協会(第二世銀)及び日本赤十字社千葉県支部へそれぞれ約7百万円を寄付しました。(販売開始以降の寄付累計額：約236百万円)



ちばぎんカップの開催

平成23年2月、Jリーグのプレシーズンマッチ「第17回ちばぎんカップ 柏レイソルVSジェフユナイテッド市原・千葉」を開催しました。当日は約300名の障がい者の方をご招待し、白熱した試合を観戦していただきました。



千葉県ユース(U-15)サッカー選手権大会／千葉県少年野球大会への協賛

当行は、健全な青少年の育成と、地域社会におけるスポーツ振興を応援することを目的に、「千葉県ユース(U-15)サッカー選手権大会」と「千葉県少年野球大会」に協賛しています。毎年大勢の青少年が参加し、ファイトあふれるプレーが繰り広げられています。

ちばぎんひまわりコンサートの開催

本コンサートは、平成元年より実施しているメセナ活動です。毎回多彩なアーティストを迎え、地域のお客さまを無料でご招待しています。平成23年7月に開催した43回目のコンサートでは、当行のCMソングを歌う川嶋あいさんの歌声をお楽しみいただきました。



ちばぎんフィルムライブラリー

「ちばぎんフィルムライブラリー」は、当行が創立20周年を迎えた昭和38年に開始した活動です。多岐にわたる分野の16ミリフィルムやビデオ作品等を、幼稚園や子供会、老人施設など幅広い方々に無料で貸し出しています。



環境の未来を育む

環境に配慮した店舗づくり

CO₂削減を目的として、三郷中央支店・越谷レイクタウン支店等に太陽光発電システムを、中山支店・千葉ニュータウン支店に屋上緑化を導入しました。今後も、環境に配慮した店舗づくりを促進してまいります。



環境対応車の導入

地球温暖化防止に向け、本部営業車輛を中心にハイブリッド車輛への切替えを進めています。平成23年2月には、走行中にCO₂を排出しない電気自動車「日産LEAF(リーフ)」と「三菱i-MiEV(アイミーブ)」を導入しました。



ペットボトルキャップの回収運動

平成22年2月より、ペットボトルキャップの回収運動を実施しています。平成23年3月までに



約341万個を回収し、CO₂排出量約27トンの削減につなげました。また、リサイクル対価は発展途上国の子供たち4,270人分のワクチン代として役立てられました。

「ちばぎんの森」森林整備活動

地球温暖化の原因となるCO₂を吸収する緑を育む活動として、平成15年、平成17年の富津市鬼泪山(きなだやま)に続き、平成22年3月より長生郡白子町にて、千葉県の方の森制度に基づく森林整備活動を開始しました。役職員・OBのボランティアによる植樹活動のほか、下草刈りなど育樹活動を継続し、環境保全に貢献してまいります。



役職員・OBによる美化活動

当行役職員・OBで構成するボランティア組織「Vネットクラブ」では、九十九里浜・印旛沼をはじめ県内各地の海岸や公園等でのクリーンウォーク活動、店舗周辺の清掃活動などを行っています。今後も県内各地で地域の美化活動に積極的に取り組んでまいります。



UNEP FI(国連環境計画・金融イニシアティブ)への署名(参加)

UNEP FIは国連の補助機関で、金融機関のさまざまな業務において、地球環境及び持続可能な発展に配慮した最も望ましい事業のあり方を追求し、これを普及・促進することを目的としています。当行は、UNEP FIの掲げる趣旨に賛同し、欧州国連本部(スイス・ジュネーブ)にて署名(参加)を行いました。



産業の未来を育む

ひまわりベンチャー育成基金

県内のベンチャー企業支援を目的として、平成10年より助成金交付事業を展開しています。平成23年2月までの助成先累計は134先となりました。



ちばぎんアグリ商談会の開催



平成22年8月、県内の農業マーケットのさらなる拡大を目的に「ちばぎんアグリ商談会」を開催しました。本商談会では、農家の現状と今後の課題等について講演を行ったほか、農業生産者と食品関連企業との商談の場をご提供しました。

地方銀行フードセレクションの開催

平成22年11月、地方銀行31行と合同で食の展示商談会「地方銀行フードセレクション」を開催しました。当日は、食料品製造業者が試飲・試食をつづじて、こだわりの自社商品をバイヤーにPRしました。



千葉県観光ビジネス商談会の開催

平成22年12月、県内の観光関連産業の振興を目的に「千葉県観光ビジネス商談会」を開催しました。県内のレジャー施設・宿泊施設等40社が出展し、旅行会社等に観光資源をPRしました。



上海ビジネス交流会の開催

平成23年1月、地方銀行4行と合同で「上海ビジネス交流会」を開催しました。本交流会では、中国ビジネスに取り組まれているお客さまに中国経済の最新情報のほか、参加企業間による情報交換や新たなビジネスの開拓の場をご提供しました。

医業セミナーの開催

平成23年2月、医療関係者の皆さまに情報提供を行うことを目的に、「医業セミナー」を開催しました。当日は、医業承継の進め方や、医療法人による高齢者賃貸住宅の開発と運営のポイントについて理解を深めていただきました。

千葉工業大学との産学連携

平成23年1月、産学連携強化の一環として千葉工業大学と「連携協力に関する協定書」を締結しました。地域産業や学術文化の振興に係る情報交換、銀行業務や金融経済に関する講座の提供、大学の研究成果の事業化促進などを図ってまいります。



千葉県29大学合同 就職セミナー2011の開催

平成23年6月、優秀な人材確保を目指す県内中堅・中小企業と県内の新卒大学生の面談機会を提供する「千葉県29大学合同 就職セミナー2011」を開催しました。当日は、当行のお取引先46社と県内にある29大学の学生が参加し、各企業のブースで4時間にわたる真剣なやりとりが交わされました。



地域密着型金融の推進への取組みについて

地域密着型金融の推進は、CSR活動における「本業」につながる重要な活動です。ちばぎんグループでは、第11次中期経営計画「フロンティア70」に掲げた各項目への着実な取組みをつうじて、地域密着型金融を推進しています。

1 ライフサイクルに応じた取引先企業の支援の一層の強化

① 創業・新事業支援の強化

ベンチャー企業向け投資や、ベンチャー企業向けローン・制度融資等に積極的に取組んでまいります。

② 事業再生機能の強化

営業店と本部が連携するなど、ノウハウの共有化をつうじ事業再生スキルを高めてまいります。

③ 事業承継支援機能の強化

「経営承継サポートサービス」「遺言作成サポートサービス」を切り口に、遺言信託や遺産整理業務に積極的に取組んでまいります。

- 公益財団法人ひまわりベンチャー育成基金による助成金交付
- ちばぎんキャピタル株式会社によるベンチャー企業向け投資
- 独立行政法人中小企業基盤整備機構等との連携による経営革新制度の承認取得等支援
- 中小企業再生支援協議会や公益財団法人千葉県産業振興センターと連携した事業再生支援
- M&Aや遺言信託を含む事業承継サポート

2 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給の徹底

① 不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資等への取組み

事業価値を見極め、不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資に取組んでまいります。

② 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

研修等をつうじ、取引先の事業価値を見極める目利き力の向上を図ってまいります。

- 私募債、シンジケートローンへの取組み
- 流動資産担保融資(ABL)やABCPプログラムを活用した売掛債権流動化
- 千葉県農業信用基金協会保証付融資・家畜飼料特別支援資金の活用
- 職員による中小企業診断士資格の取得

3 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

① ビジネスマッチング機能の強化等

ビジネスマッチング商談会の開催等をつうじ、お客さまの新たなビジネスの創出を支援します。

② 総合金融サービスの提供

ちばぎん証券、ちばぎん総合研究所、ちばぎんリース、ちばぎんコンピューターサービスなどグループ会社を活用し、幅広い金融サービスを提供するとともに、コンサルティング機能を強化し、最適な提案を行ってまいります。

- 各種商談会の開催によるビジネスマッチング支援
 - 観光ビジネス商談会
 - アグリ商談会
- セミナー開催による経営ノウハウの提供
 - 中国ビジネスセミナー
 - 医業セミナー
- 民間資金を活用した社会資本整備(PFI)への取組み

金融円滑化への取組みについて

金融円滑化への取組みについて

当行は、地域金融機関として金融サービスの提供をつうじて、地域のお客さまのニーズにお応えし、地域の発展に貢献するという役割・使命を果たす姿勢を堅持しています。特に、地域への円滑な資金供給をはじめとする金融仲介機能の強化やお客さまへの経営健全化支援等による地域密着型金融の実践については、従来から最も重要な経営課題として位置づけ、各種施策に積極的に取り組んでまいりました。

このようななか、現在の厳しい経済・雇用環境や、お客さまのお借入負担の状況などに鑑み、より一層お客さまの声に真摯に耳を傾け、適切にお客さまのご相談に対応してまいります。また、中期経営計画にも掲げる「お客さま第一主義」を徹底し、今後もコンサルティング機能を発揮した営業展開を実践してまいります。

金融円滑化に向けた体制について

ご相談受付体制

最寄の営業店でお気軽にご相談いただけるよう、全営業店及び出張所に「金融円滑化相談窓口」を設置しているほか、休日には、コンサルティングプラザ千葉・船橋・柏に「金融円滑化休日相談窓口」を設置しています。また、ご意見・ご要望及び苦情に迅速かつ適切に対応するために、「金融円滑化苦情相談窓口」を設置し、「金融円滑化苦情相談ダイヤル」(専用フリーダイヤル)を開設しています。

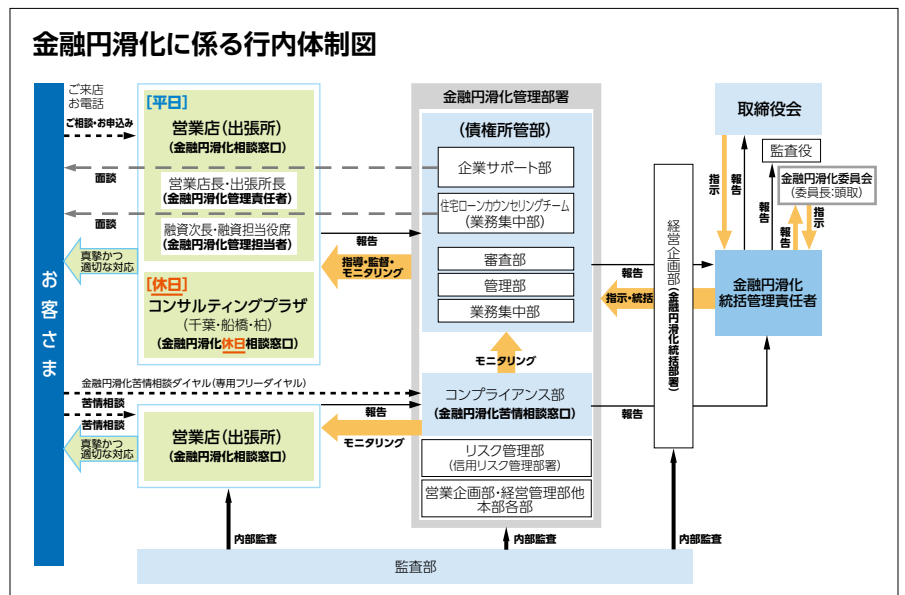
お客さまの事業改善・再生支援体制

お客さまの経営課題をしっかりと把握・分析し、事業の持続可能性等を適切かつ慎重に見極め、最適なソリューション(経営課題を解決するための方策等)を提案しています。併せて、お客さまの経営再建計画策定支援のほか、ソリューション実行後の経営相談や経営指導を継続的に行っていくなど、事業改善・再生支援に向け適切にフォローしています。

また、経営改善が必要なお客さまから新たなお借入れのご相談があった場合、それにより新たな収益機会の獲得や中長期的な経費削減等が見込まれ、業況や財務等の改善による償還能力の向上につながると判断される場合には、適切に新規の信用供与を行うよう努めています。

住宅ローンをご利用いただいているお客さまへの支援体制

住宅ローンをご利用いただいているお客さまには、「住宅ローンカウンセリングチーム」にて、将来にわたる無理のないご返済に向けて支援を行っています。



お客さま満足度向上に向けた取組み

救命手当講習の実施

平成23年2月、お客さまが安心してご利用いただける店舗づくりの一環として、営業店の副支店長等を対象に「救命手当講習」を実施しました。当日は、日本赤十字社の講師をお招きし、AEDの使用方法を含めた救命手当についてご指導いただきました。



セブン銀行亀有店出張所における銀行代理業務の開始

平成23年2月、当行の銀行代理業務を行う店舗にセブン銀行本店イトーヨーカドー亀有店出張所を追加しました。セブン銀行とは平成18年5月より銀行代理業に関する業務提携を行っており、本拠点は、セブン銀行蘇我店出張

所、八千代店出張所、葛西店出張所に続き4店舗目となりました。

サービス介助士及び認知症サポーターの育成

職員へのサービス介助士2級資格の取得奨励や営業店のロビー担当者全員を対象とした「サービス介助セミナー」の開催、副支店長等を対象とした「認知症サポーター」養成講座の開催など、ご高齢のお客さま、お身体の不自由なお客さまを含めた全てのお客さまが安心してお取引いただけるよう努めています。



視覚障がいのお客さま対応ATMの設置

店内・店外ATMの全拠点

426ヶ所に「視覚障がいのお客さま対応ATM」を設置しています（平成23年3月末現在、1,240台中1,059台設置）。また、視覚に障がいをお持ちのお客さまが窓口で振込みを行う際の手数料について、ATM振込手数料と同額に引き下げています。



預金残高の点字通知サービス

当行では、視覚に障がいをお持ちのお客さまを対象に、毎月末日の預金残高を口座番号毎に「点字」で表示し、お客さまへ郵送するサービスを取扱っています。ご希望のお客さまは、お近くの営業店でお気軽にお申し込みいただけます。

～全てのお客さまが安心してご利用いただける店舗づくりを目指しています～

- ・ディスプレイのタッチパネル化・大型化や、「テラー指名」機能の追加など、より見やすく、使いやすくなった新型EQシステム（窓口受付システム）を128ヶ店に設置
 - ・視覚に障がいをお持ちのお客さまを来店時に音声でご案内する来店案内システム（メロガイド）を鎌ヶ谷支店、船橋支店、四街道支店、真砂支店、三郷中央支店、千葉ニュータウン支店に設置
 - ・助聴器、筆談用ホワイトボード、コミュニケーションボードを全店に設置 等
- （平成23年3月末現在）



職員満足度向上に向けた取り組み

若手職員の早期戦力化



集合研修やOJT*など人材教育の充実により、若手職員の早期戦力化に努め、将来の当行を担う人材の育成を図っています。

特に新入行員研修には、入行直後の2ヶ月間にわたる「導入研修」を新設し、銀行員としての基礎を集中的に教育します。

業務に関する研修のほか、「坐禅修行」や「農業体験」など、多彩な経験をつうじて、人間的資質を高めます。

この期間に「学生」から「社会人」への意識転換を図り、向上心を持って自律的に行動できる人材を育成しています。

※OJT：On the Job Trainingの略。職場での仕事経験をつうじて業務を修得すること。



業務スキルの向上

お客様のニーズに的確にお応えできるよう、「実践的な法人営業力・融資力の強化」「投資型金融商品の提案力向上」「事務力

の強化」を図る研修カリキュラムを実施し、業務スキルを高めています。

また、集合研修やブロック別勉強会のほか、本部職員が営業店に赴きノウハウを直接伝授する取り組み等も行っています。

さらに、お客様の海外進出が進むなかで、行員を海外視察やトレーニーとして積極的に派遣するなど、お客様のグローバル化に対応できる人材を育成しています。

営業店マネジメント力の向上

営業店マネジメント力の向上を図るべく、経験豊富な営業店長が新任支店長に経験やノウハウを伝授するフォローアップ研修や、管理職向けに「人材育成と業績目標を同時に達成するマネジメント」をテーマとした研修などを実施しています。

女性職員の活躍支援

女性職員の活躍の場を広げる取り組みとして、「管理職・役席、本部ポストへの積極登用」や中堅女性職員等を対象とした「ステップアップ研修」などモチベーション向上やキャリアアップにつながる支援策を積極的に展開しています。

中高年職員の活躍支援

中高年職員がいきいきと働くことのできる環境整備の一環と

して、40代から退職に至るまで、セカンドキャリア研修やカウンセリングなどを体系的に行う「いきいき生活サポートプラン」により、職員の人生設計を継続的にサポートしています。

仕事と子育ての両立支援



仕事と子育ての両立が図れるよう、子の年齢が(最長)3歳に達するまでの職員を対象とした育児休業制度や短時間勤務制度、育児休業者に対する「職場復帰応援セミナー」の開催など環境整備を図っています。

平成22年10月には、厚生労働省より仕事と育児との両立支援のための取り組みが評価され、「均等・両立推進企業表彰」のファミリー・フレンドリー企業部門において、千葉労働局長優良賞を受賞しました。



コンプライアンス体制

当行は、コンプライアンスの徹底と顧客保護等管理態勢の強化に全力を傾けています。



コンプライアンス体制

当行は、コンプライアンスを全ての業務の基本に置き、銀行取引に係るさまざまな法令や、銀行内の諸規定はもちろん、社会生活を営むうえでのあらゆる法令やルールを遵守し、社会的規範にもとることのない誠実かつ公正な企業活動を遂行していくことが重要と考え、全行をあげてコンプライアンス態勢の強化を継続的に行っています。

具体的には、頭取を委員長、複数の取締役・執行役員及び部長を委員とする「コンプライアンス委員会」を定期的で開催し、コンプライアンス徹底のための具体的な実践計画や対応策等の検討を行っています。

「コンプライアンス部」では、コンプライアンス関連規定・マニュアルの管理、研修計画の立案・実施状況の確認、コンプライアンス徹底状況の定期的チェックなどを実施するほか、モニタリングや臨店指導をつうじた営業店に対するチェック・指導を行っています。

基本方針の徹底

当行は、「千葉銀行の企業倫

理」を定め、職員の行動指針を明確にするとともに、具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を全職員に配布し、その徹底を図っています。

コンプライアンス・プログラムの策定

コンプライアンス態勢を一層充実させるための具体的な実践計画として、「コンプライアンス・プログラム」を年度毎に取締役会において策定しています。同プログラムの実施状況は、取締役会及びコンプライアンス委員会において定期的に確認しています。

顧客保護・個人情報保護の取組み

当行は、お客さまの保護と利便の向上に向けて、全職員に誠実かつ公正な業務活動を行うよう指導・教育しています。特に、商品性が複雑で元本割れのリスクが内在している金融商品やデリバティブ取引につきましては、金融商品取引法の遵守に加えて、「千葉銀行の勧誘方針」に則った適切な勧誘・販売を徹底するとともに、お客さまへのアフターフォローの充実を図っています。

お客さまからのご要望や苦情につきましては、真摯に耳を傾け、万一の紛争等につきましては、金融ADR制度の趣旨を踏まえ適切に対応しています。

個人情報につきましても、お客さまからお預かりしている大切な財産と考え、「個人情報の適切な保護と利用を図るための取組方針の宣言（個人情報保護宣言）」に基づき厳格に管理しています。

金融ADR制度とは

金融分野における裁判外の紛争解決手続をいいます。中立・公正な第三者機関の関与により、裁判によらず簡便かつ迅速な紛争解決を図る手続です。当行は法令に基づく指定紛争解決機関である「一般社団法人全国銀行協会」及び「社団法人信託協会」と手続実施基本契約を締結しています。

マネー・ローンダリング防止・金融犯罪対策に向けた取組み

当行は、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に向けた管理の方針」に基づき、マネー・ローンダリング等の防止を徹底しています。また、さまざまな金融犯罪からお客さまを保護するための対策を強化しています。

反社会的勢力との関係遮断に向けた取組み

当行は、普通預金規定や銀行取引約定書、ローン契約書をはじめとする各種取引規定等に暴力団排除条項を導入するなど、反社会的勢力との関係遮断に向けた取組みを積極的に進めています。

千葉銀行の企業倫理

(揺るぎない信頼の確保)

① 千葉銀行は、銀行のもつ社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会からの揺るぎない信頼を確保していくことを宣言する。

(法令やルールなど基本原則の徹底した遵守)

② 千葉銀行は、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を遂行することを宣言する。

(反社会的勢力との対決)

③ 千葉銀行は、市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力や団体とは断固として対決することを宣言する。

(透明な経営)

④ 千葉銀行は、経営情報の積極的かつ公正な開示を図り、透明な経営に徹することを宣言する。

千葉銀行の勧誘方針

当行は、銀行のもつ社会的責任と公共的使命の重みを常に認識し、自己責任に基づく健全かつ適切な業務運営を通じて、社会からの揺るぎない信頼の確保に努めております。また、当行は、あらゆる法令やルールを厳格に遵守し、社会的規範にもとることのない、誠実かつ公正な企業活動を実践しております。

当行は、この法令等遵守の姿勢を基本として、金融商品の販売等に係る勧誘に際しましても、次の方針を掲げ、日々の営業活動を実践してまいります。

- ① お客さまのこれまでの資産運用のご経験、保有されている金融商品などの状況、運用の目的や期間などに照らし、お客さまに適した商品をお勧めいたします。
- ② お客さまが、商品の内容や内包するリスクなどについて十分ご

理解いただいたうえでお取引引きいただけますよう、資産運用のご判断に必要となります事項のご説明や情報のご提供を行います。

- ③ 事実と異なる情報をご提供したり、商品の価格動向について断定的な判断をお示ししたりするなど、お客さまの誤解を招くような勧誘はいたしません。
- ④ お客さまのご都合を優先した勧誘を行います。
- ⑤ お客さまに質の高い金融サービスをご提供できますよう、職員の知識向上のための研修の充実に努めます。
- ⑥ お客さまからのご要望やご意見には、迅速かつ適切に対応いたします。

個人情報の適切な保護と利用を図るための取組方針の宣言

当行は、お客さまの個人情報の取り扱いにあたりましては、個人情報個人が個人の人格尊重の理念の下に慎重に取り扱われるべきものであることに鑑み、次の方針を掲げ、お客さまの権利利益を保護するために、最善の配慮を行なってまいります。

- ① 個人情報の保護に関する法令やルールを厳格に遵守し、個人情報の適切な保護と利用を図ります。
- ② 法令等に特段の定めのある場合を除き、お客さまにお知らせした利用目的の達成に必要な範囲を超えて、個人情報を利用いたしません。

- ③ 個人情報の漏えい、滅失、毀損の防止その他の安全管理のため、必要かつ適切な安全管理措置を講じます。
- ④ 個人情報保護にかかる態勢を継続的に見直し、適時適切な改善を実施いたします。
- ⑤ お客さまからの個人情報の取り扱いに関するご意見につきましては、適切かつ迅速に対応いたします。

マネー・ローンダリング及びテロ資金供与防止に向けた管理の方針

当行は、マネー・ローンダリング及びテロ資金供与(以下、これらを「マネー・ローンダリング等」といいます。)の防止について、その重要性を認識し、マネー・ローンダリング等の防止に向けた適切な行内態勢を確保してまいります。

① 一元的な管理態勢の構築

マネー・ローンダリング等の防止にかかる責任者・担当者の役割及び責任を明確にし、関係部署の適切な連携のもとで一元的な管理を行います。

② 適切な事務取扱いの確保

本人確認、資産凍結等の措置に係る確認、疑わしい取引の報告

等、マネー・ローンダリング等の防止に向けた適切な事務取扱いを整備し、確立します。

③ 適切な職員教育の実施

マネー・ローンダリング等の防止に関する研修等の職員教育を継続的に実施し、関係法令及び事務取扱いについて周知徹底を図ります。

④ 有効性の検証

マネー・ローンダリング等の防止に関する取組状況のモニタリングを行い、諸施策の有効性を検証し、管理態勢の充実強化を図ります。

主要な業務内容

預金業務

(1) 預金

当座預金、普通預金、決済用普通預金、貯蓄預金、通知預金、定期預金、別段預金、納税準備預金、非居住者円預金、外貨預金等を取扱っております。

(2) 譲渡性預金

譲渡可能な預金を取扱っております。

貸出業務

(1) 貸付

手形貸付、証書貸付及び当座貸越を取扱っております。

(2) 手形の割引

銀行引受手形、商業手形及び荷付為替手形の割引を取扱っております。

証券業務

(1) 国債等公共債及び証券投資信託の窓口販売、 保護預り・口座管理

(2) 国債等公共債の引受・売買

(3) コマーシャル・ペーパーなどの取扱い

(4) 金融商品仲介業務

有価証券投資業務

預金の支払準備及び資金運用のため、国債、地方債、社債、株式、その他の証券に投資しております。

内国為替業務

送金為替、振込及び代金取立等を取扱っております。

外国為替業務

輸出、輸入及び外国送金その他外国為替に関する各種業務を行っております。

社債受託及び発行・支払代理人業務

担保附社債信託法による社債の受託業務、公社債の募集受託及び発行・支払代理人業務に関する業務を行っております。

信託業務及び相続関連業務

信託業務(土地信託・公益信託・特定贈与信託)、相続業務(遺言信託・遺産整理業務)及びそれに関連する業務(遺言作成サポートサービス・経営承継サポートサービス)を取扱っております。

確定拠出年金運営管理業務

確定拠出年金法における運営管理業務を行っております。

その他の附帯業務

(1) 代理業務

- ① 日本銀行代理店、日本銀行歳入代理店
- ② 地方公共団体の公金取扱業務
- ③ 勤労者退職金共済機構等の代理店業務
- ④ 株式払込金の受入代理業務及び株式配当金、公社債元利金の支払代理業務
- ⑤ 中小企業金融公庫等の代理貸付業務
- ⑥ 信託契約代理業務
- ⑦ 保険代理店業務

(2) 保護預り及び貸金庫業務

(3) 有価証券の貸付

(4) 債務の保証(支払承諾)

(5) 金の売買

(6) 金利、通貨、商品等のデリバティブ取引等

(7) クレジットカード業務

ちばぎんグループのご案内

事業の内容

当行グループは、当行ほか、子会社等13社などで構成され、地域の皆さまに幅広い金融商品・サービスを提供しています。

千葉銀行 (平成23年3月31日現在)

- 国内 本支店152 特別出張所5 出張所13 仮想店舗2 両替出張所3
- 米州 ニューヨーク支店
- 欧州 ロンドン支店
- アジア 香港支店 上海駐在員事務所 シンガポール駐在員事務所

子会社等 (平成23年7月1日現在)

会社名	主な業務内容	会社概要
株式会社 総武 〒262-0025 千葉市花見川区花園1-7-12 TEL:043-276-5121	千葉銀行用店舗・厚生施設の賃貸・保守・管理、調度品・消耗品等の調達・販売業務	設立: 昭和34年9月7日 資本金: 20百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎんアカウントینگサービス株式会社 〒260-0026 千葉市中央区千葉港8-4 日本興亜千葉ビル4階 TEL:043-244-3211	経理総務受託業務、人材派遣業務	設立: 平成元年12月22日 資本金: 20百万円 当行議決権比率: 100%
ちば債権回収株式会社 〒260-0016 千葉市中央区栄町39-10 TEL:043-225-6375	債権管理回収業務	設立: 平成13年10月1日 資本金: 500百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎんハートフル株式会社 〒261-0011 千葉市美浜区真砂4-1-10 TEL:043-270-7341	事務代行業務	設立: 平成18年12月1日 資本金: 10百万円 当行議決権比率: 100%
ちばぎん保証株式会社 〒263-0031 千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 TEL:043-247-5770	信用保証業務、集金代行業務	設立: 昭和53年5月1日 資本金: 54百万円 当行議決権比率: 45.63% 当行子会社等議決権比率: 42.87%
ちばぎんジェーシービーカード株式会社 〒260-0015 千葉市中央区富士見1-14-11 TEL:043-225-2611	クレジットカード、信用保証業務	設立: 昭和57年11月1日 資本金: 50百万円 当行議決権比率: 49% 当行子会社等議決権比率: 21%
ちばぎんディーシーカード株式会社 〒260-0015 千葉市中央区富士見1-14-11 TEL:043-225-8411	クレジットカード、信用保証業務	設立: 平成元年2月16日 資本金: 50百万円 当行議決権比率: 40% 当行子会社等議決権比率: 55%
ちばぎんリース株式会社 〒262-0025 千葉市花見川区花園2-1-22 TEL:043-275-8001	リース業務	設立: 昭和61年12月15日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 49% 当行子会社等議決権比率: 51%
ちばぎん証券株式会社* 〒260-0013 千葉市中央区中央2-5-1 千葉中央ツインビル2号館2階 TEL:043-222-1141	証券業務	設立: 昭和19年3月27日 資本金: 4,374百万円 当行議決権比率: 41.43% 当行子会社等議決権比率: 7.36%
ちばぎんコンピューターサービス株式会社 〒266-0032 千葉市緑区おゆみ野中央6-12 TEL:043-292-8881	ソフトウェアの開発業務、計算受託業務	設立: 昭和55年4月1日 資本金: 150百万円 当行議決権比率: 46% 当行子会社等議決権比率: 20%
ちばぎんキャピタル株式会社 〒260-0026 千葉市中央区千葉港8-4 日本興亜千葉ビル2階 TEL:043-248-8822	株式公開・上場などに関するコンサルティング業務	設立: 昭和59年5月29日 資本金: 100百万円 当行議決権比率: 30% 当行子会社等議決権比率: 30%
ちばぎんアセットマネジメント株式会社 〒130-0022 東京都墨田区江東橋2-13-7 TEL:03-5638-1450	投資助言業務	設立: 昭和61年3月31日 資本金: 200百万円 当行議決権比率: 35% 当行子会社等議決権比率: 45%
株式会社ちばぎん総合研究所 〒263-0043 千葉市稲毛区小仲台2-3-12 TEL:043-207-0621	情報・調査業務、コンサルティング業務	設立: 平成2年2月28日 資本金: 150百万円 当行議決権比率: 5% 当行子会社等議決権比率: 70%

*ちばぎん証券株式会社の営業店舗(全16店舗)：本店営業部、銚子支店、茂原支店、木更津支店、市原支店、旭支店、八千代支店、成田支店、東金支店、鎌ヶ谷支店、津田沼支店、館山支店(以上千葉県)、東京支店(東京都)、久喜支店(埼玉県)、南つくば支店(茨城県)、東信支店(長野県)。

コーポレート・ガバナンス

当行グループは、コーポレート・ガバナンスの強化・充実のため、以下のような体制を敷いています。

取締役会

9名の取締役で構成し、経営方針やその他重要事項を決定するとともに、取締役及び執行役員
の業務執行を監督しています。

監査役

当行は監査役設置会社形態を採用し、独立性の高い社外監査役3名(うち常勤監査役2名)を含む5名の監査役が、取締役会をはじめとする当行の重要会議に幅広く出席し、取締役等の職務執行状況を監視しています。

執行役員制度

当行は執行役員制度を採用し、取締役会により選任された執行役員が、担当部門の業務執行責任を負う体制としています。

内部監査

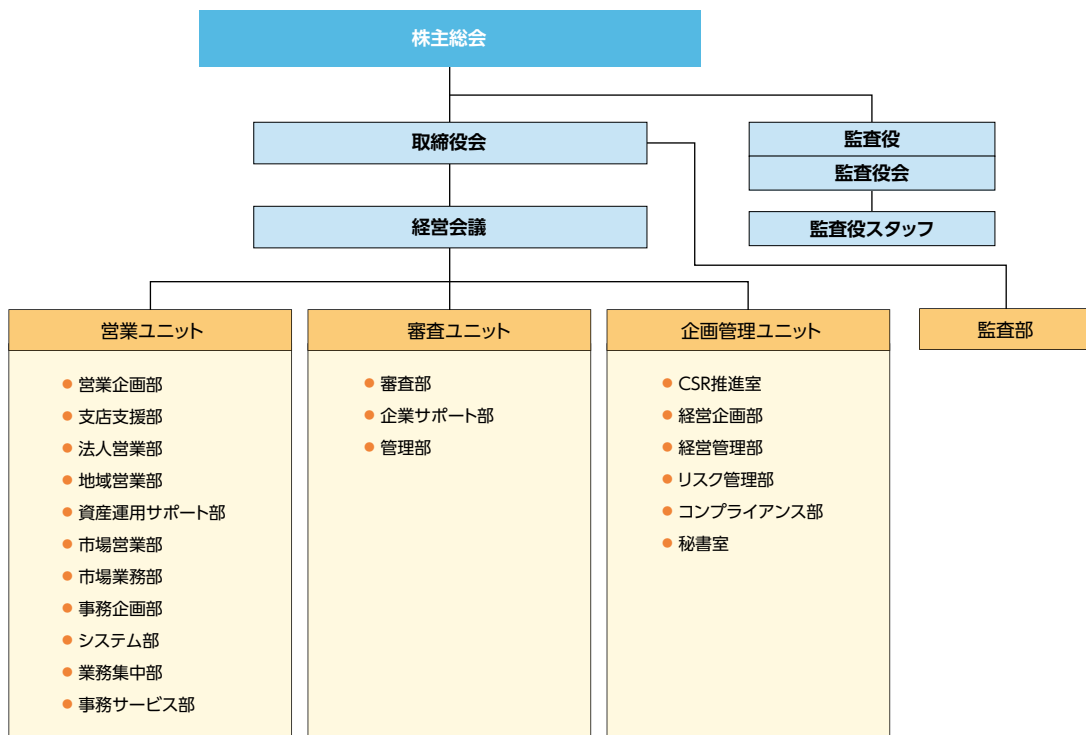
被監査部門から独立した監査部が、本部、営業店及び子会社の内部監査を年度毎に取締役会
で決定する「内部監査計画」等に基づいて実施しています。監査結果、指摘事項等は、四半期毎に取締役会に報告され、また、「内部監査委員会」で、コンプラ

イアンス及びリスク管理上の問題点や改善策の検討が行われています。

グループ管理体制

当行の子会社各社は、当行のコンプライアンス規定、各種リスク管理規定等に準じて諸規定を定めるとともに、各社のコンプライアンスやリスク管理を当行の管理部署が統括する体制とし、さらに、当行の内部監査部署が各社の内部監査を実施して、当行グループ全体の業務の適正性を確保しています。

コーポレート・ガバナンス体制図(平成23年6月29日現在)



内部統制システムの整備に係る基本方針

当行は、業務の適正を確保する体制(内部統制システム)の整備に係る基本方針を次のとおり取締役会で定め、本方針に基づき、質の高い経営体制の構築に努めています。

1. 取締役及び使用人の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

- (1) 「千葉銀行の企業倫理」や「行動指針」を定めた「コンプライアンス規定」を制定し、役職員の行動指針を明確にするとともに、具体的な手引書である「コンプライアンス・マニュアル」を通じ、その徹底を図る。
- (2) 市民社会の秩序や安全に脅威を与え、健全な経済・社会の発展を妨げる反社会的勢力とは断固として対決し、関係を遮断する。
- (3) コンプライアンスに関する重要事項を審議する「コンプライアンス委員会」を設置するとともに、コンプライアンス統括部署を定める等、コンプライアンス体制を整備する。
- (4) コンプライアンス充実のための実践計画である「コンプライアンス・プログラム」を定期的に策定して、これを実施する。
- (5) 取締役会は、コンプライアンスに関する重要事項の決定を行うとともに、定期的にコンプライアンスに関する報告を受ける。
- (6) 監査役及び業務執行部門から独立した内部監査部署は、コンプライアンス体制の有効性及び適切性等、コンプライアンスに関する監査を行う。
- (7) 役職員の法令違反等に関する通報を職員等から直接受け付ける内部通報制度を設け、適切な運用を図る。

2. 取締役の職務の執行に係る情報の保存及び管理に関する体制

取締役の職務の執行に係る情報については、法令の定めによるほか、行内規定により議事録・稟議書等の重要な文書等を適切かつ確実に保存・管理し、必要に応じて閲覧可能な状態を維持する。

3. 損失の危険の管理に関する規定その他の体制

- (1) 「リスク管理の基本方針」及び各種リスク管理規定を定め、各種リスクの管理部署及び当行全体のリスクの統合管理部署を明確にする等、リスク管理体制を整備する。
- (2) 取締役会は、リスク管理に関する重要事項の決定を行うとともに、定期的にリスク管理に関する報告を受ける。
- (3) 監査役及び内部監査部署は、リスク管理体制の有効性及び適切性等、リスク管理に関する監査を行う。
- (4) 大規模災害、大規模システム障害等、不測の事態を想定した危機管理計画を策定し、必要に応じて訓練を実施する。

4. 取締役の職務の執行が効率的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会において中期経営計画・営業施策等重要な職務の執行を決定するとともに、その進捗等について報告を受ける。
- (2) 取締役会決議により定める取締役にて構成する「経営会議」において、取締役の職務の執行に関する事項を幅広く協議する。
- (3) 執行役員制度の採用により、意思決定及び取締役の監督機能と、業務執行機能を分離し、意思決定及び業務執行の迅速化・効率化を図る。

- (4) 取締役の職務の執行については、「組織規定」、「職務権限規定」、「業務分掌規定」等において執行権限・執行手続等を定め、効率的な業務運営を図る。

5. 当行及びその子会社から成る企業集団における業務の適正を確保するための体制

- (1) 当行及びその子会社から成る企業集団(以下「当行グループ」という。)における業務の適正を確保するため、当行は子会社各社(以下「各社」という。)に対し、必要に応じて取締役及び監査役を派遣し、一体的な管理体制を整備する。
- (2) 各社は、当行のコンプライアンス規定、各種リスク管理規定等に準じて諸規定を定めるとともに、各社のコンプライアンスやリスク管理を当行の管理部署が統括する体制とし、さらに、当行の内部監査部署が各社の内部監査を実施して、当行グループ全体の業務の適正を確保する。
- (3) 各社の重要な業務執行にあたっては、当行へ適時・適切に協議・報告を行う体制とともに、当行と各社の役員が定期的に意見交換を行い当行グループの経営課題について情報を共有化する。
- (4) 当行及び各社は、相互に不利益を与えないよう銀行法の定めるアームズレングスルールを遵守する。
- (5) 当行及び各社は、財務報告に係る内部統制規定を制定するとともに、内部統制統括部署を定める等、財務報告の信頼性確保のための体制を整備する。

6. 監査役を補助すべき使用人に関する事項及び当該使用人の取締役からの独立性に関する事項

- (1) 監査役の職務を補助すべき使用人として、監査役補助者を任命する。
- (2) 監査役補助者は業務執行に係る役職を兼務しないこととするとともに、人事異動等については、監査役の同意を得ることとし、取締役からの独立性を確保する。

7. 取締役及び使用人が監査役に報告をするための体制その他の監査役への報告に関する体制

- (1) 取締役は、当行に著しい損害を及ぼすおそれのある事実を発見したときは、直ちに監査役会に報告する。
- (2) 前記に関わらず、監査役会は必要に応じて、取締役及び使用人に対して報告を求めることができる。

8. その他監査役の監査が実効的に行われることを確保するための体制

- (1) 取締役会ほか重要会議への出席、内部監査部署・会計監査人との連携等を通じ、監査役の監査の実効性を確保する。
- (2) 代表取締役は監査役と定期的に意見交換を行い、相互認識と信頼関係を維持する。

以上

リスク管理体制

当行ではリスクを正確に把握・分析し、管理・運営していくことが極めて重要であると認識し、リスク管理体制の強化・充実に取り組んでいます。

統合的なリスク管理体制

銀行業務には、信用リスク、市場リスク、オペレーショナル・リスクなどさまざまなリスクが存在します。

当行では、収益性を向上させ、かつ経営の健全性を維持していくためには、個々のリスクを別々に管理するだけでなく、これらのリスクを一元的に把握し、銀行全体として許容できる範囲内にコントロールしていくことが必要であると考えています。

そのため、リスク毎にグループ全体のリスクを管理する部署を定めていることに加え、「リスク管理部」がこれらのリスクを一元的に把握し、「ALM委員会」、「信用リスク管理委員会」及び「オペレーショナル・リスク管理委員会」の場できめ細かい管理や検討を

行うとともに、リスクの状況について取締役会に報告し対応策を検討・実施していく統合的なリスク管理体制を構築しています。

また、実効性のあるリスク管理体制を実現するため、リスク管理が適切に行われているかを「監査部」が定期的に監査し、取締役会に報告しています。

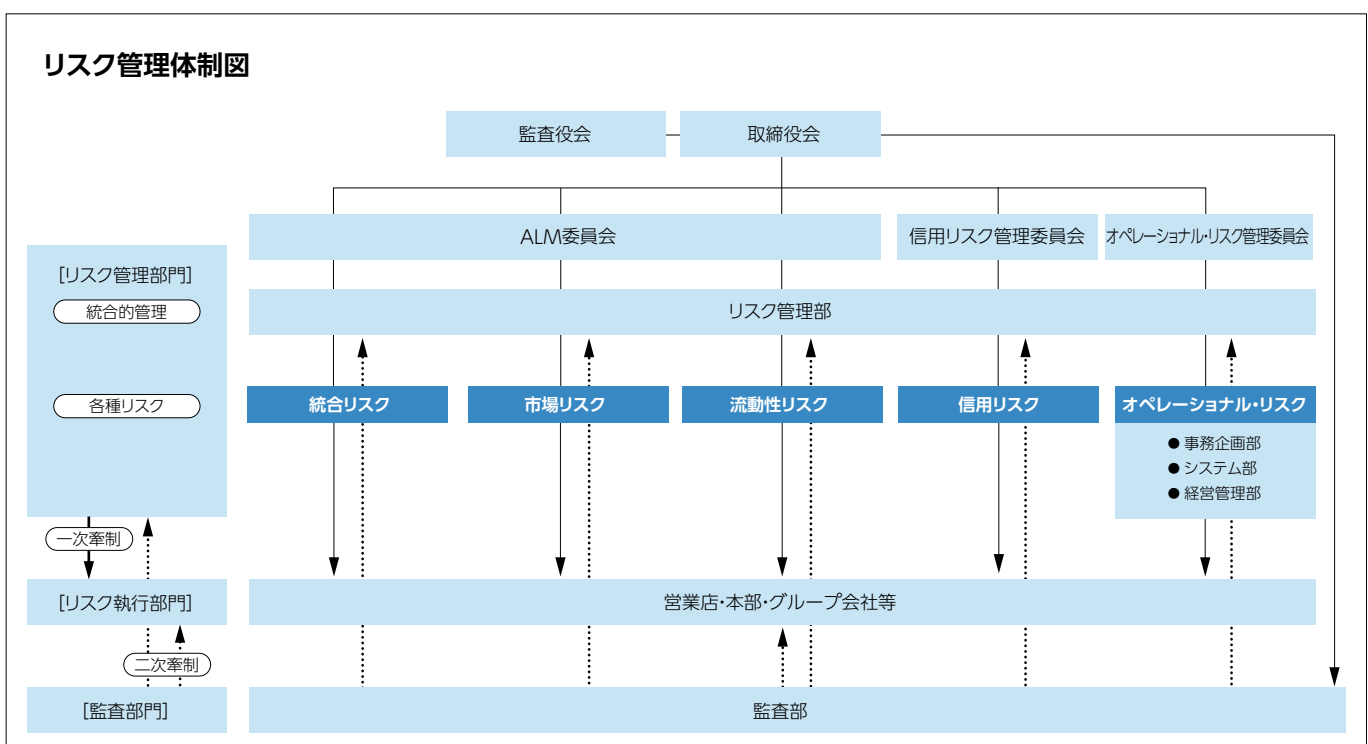
統合リスク管理

当行では、さまざまなリスクを可能な限り統一的な尺度で統合的に管理していくことを基本としています。統合リスクとは、リスクの計量化による管理が可能な信用リスク、市場リスク及びオペレーショナル・リスクを合算したものです。

統合的リスク管理部署である

「リスク管理部リスク統括グループ」は、計量化した統合リスクと自己資本との比較を行い、リスクに対する自己資本の充実度を検証し、その結果を四半期毎に取締役会に報告しているほか、ストレス・テストを実施しています。ストレス・テストとは、景気後退期に企業環境が悪化したり土地価格が下落するなどという一定のストレス・シナリオを想定し、当該シナリオに基づくリスク量の増加を予想したうえで、ストレス時の自己資本の充実状況を検証することです。

また、統合リスク管理の具体的な枠組みとして、「リスク資本配賦制度」を導入しています。「リスク資本配賦制度」とは、経営体力である自己資本の範囲内で国内営業部門・市場部門といった部門



別にリスク資本(許容リスク量)をあらかじめ配賦し、健全性の確保を図ったうえで、各部門が収益性の向上や効率的な資本の活用などリスク・リターンを意識した業務運営を行う仕組みのことです。

信用リスク管理体制

信用リスクとは、信用供与先の財務状況の悪化などにより、資産の価値が減少ないし消失し、損失を被るリスクをいい、銀行業務におけるリスクの多くを占めています。

当行では、「内部格付制度」を中心に厳正な信用リスク管理体制を構築し、個別与信管理と与信ポートフォリオ管理を行っています。また、資産の自己査定では、適正な償却・引当を実施するとともに、格付と連動した格付・自己査定システムにより、信用リスク管理の高度化を図っています。

あわせて、信用リスクに係る各部門は独立性を確保しています。具体的には、審査・管理部門が、与信部門(営業店及び営業部門)における個別案件の信用リスクを管理し、審査・管理部門及び与信部門から組織・業務が独立した「リスク管理部信用リスクグループ」が、信用リスク管理部署として信用リスク全体を統括管理します。「リスク管理部リスク統括グループ」は、統合的リスク管理部署として信用リスクを含めたすべてのリスクを統合的に管理し、さらに「監査部」は、監査部署として信用リスク管理に係る各部門の業務を監査します。

また、「信用リスク管理委員会」

信用リスク量とは

計量化により算出されるリスク量には、「期待損失」と「非期待損失」があり、「期待損失」は今後1年間に発生すると予想される損失額の平均的水準を表し、「非期待損失」は今後1年間に予想される期待損失からの最大の振れ幅を表します。一般的に「期待損失」は引当金でカバーすべき部分、「非期待損失」は潜在的損失として自己資本でカバーすべき部分とされています。

では、「リスク管理部信用リスクグループ」からの報告を受け、信用リスク管理方針の検討、「内部格付制度」の運用状況及び与信ポートフォリオのモニタリングなどを行い、貸出資産の健全性確保に努めています。

内部格付制度

当行では、「内部格付制度」により、企業の財務状況、資金繰りなどの財務データを基に、与信先を15区分の格付に分類しています。年1回の定期的な見直しに加え、企業の状況に応じて随時見直すことにより、信用リスク管理の原点である企業の実態把握と審査の充実に努めています。この「内部格付制度」を信用リスク管理の中心に位置付け、貸出金利のプライシングや融資の決裁権限など、実際の管理に幅広く活用しています。

個別与信管理

個別案件の審査は、与信の基本原則(安全性・収益性・流動性・成長性・公共性)のもと、営業店及び「審査部審査指導グループ」を中心に、審査基準に従った厳正な審査を行っています。また、

「企業サポート部」では経営改善が必要なお客さまの支援を行い、「管理部」では破綻先などの整理回収活動を行っています。こうした事前の審査及び事後の管理をとおして優良な貸出資産の積み上げと損失の極小化を図っています。

与信ポートフォリオ管理

与信ポートフォリオ管理とは、個別与信が特定の国や特定の業種に集中することなどにより、一時に大きな損失を被るリスクを管理していくものです。「リスク管理部信用リスクグループ」では、国別・業種別・格付別などのさまざまな角度から信用リスクの状況を把握し、与信上限額の設定など必要な対策を講じることにより、与信ポートフォリオの健全性向上に努めています。

与信ポートフォリオ管理においては、信用リスクの計量化に取り組んでいます。信用リスクの計量化とは、信用供与先の倒産や経営状況の悪化などにより発生が見込まれる将来の損失額(リスク量)を統計的手法により予測することです。当行では、リスク量としてVaR(想定最大損失額)を用い、計測を行っています。また、デ

フォルト・データやデフォルト先からの貸出金回収データなどの蓄積・整備を進めることで、計量化をより精緻化・高度化し、予測精度の向上を図っています。

さらに、計量結果を貸出金利のプライシングに活用することで、信用リスクを反映した適正な金利水準の確保に努めています。

資産の自己査定

自己査定とは、金融機関が自らの資産について個々に検討・分析し、資産価値の毀損や回収の危険性の程度に従って分類・区分することであり、銀行法に基づく「早期是正措置制度」により金融機関に義務付けられています。「早期是正措置制度」とは、金融機関の自己資本比率の状況に応じて行政措置が発動される制度で、正確な自己資本比率算出のためには、適正な償却・引当を行い資産内容の実態をできる限り客観的に反映した財務諸表を作

成することが前提になります。

当行では、「資産自己査定規定」に基づいて営業店が資産の自己査定を実施し、その内容を審査・管理部門がチェックしています。その後「監査部業務・資産監査グループ」が自己査定結果やプロセスの正確性について、監査を実施しています。また、この結果に基づいて、「リスク管理部信用リスクグループ」が引当額の算定を行い、「管理部」が償却を実施し、その後「監査部業務・資産監査グループ」が監査を実施しています。このようなプロセスをつうじて当行は資産の健全性を堅持しています。

市場リスク管理体制

市場リスクとは、金利、有価証券などの価格、為替などの変動により、保有する資産の価値が変動し、損失を被るリスクをいいます。

当行では、市場リスクについてALM管理体制を導入しています。

「ALM委員会」を定期的開催し、金利リスク、為替リスク及び価格変動リスクなどについて、きめ細かい対応策を協議・決定し、市場リスク全体のリスク管理を行っています。

具体的には、「リスク資本配賦制度」の一環として、部門毎に配賦されたリスク資本の範囲内で、有価証券投資などの市場性取引や預貸金といった商品毎のVaR（想定最大損失額）に基づく市場リスク量に対し、上限ガイドラインやアラームポイントを設定し管理することで健全性の確保に努めています。また、市場性取引については、VaRに基づく市場リスク量の管理に加え、残高による運用上限枠や評価損益アラームポイントなども設定しており、四半期毎に投資方針を見直すことでリスクのコントロールを行っています。

なお、トレーディング取引（短期的な金利・価格変動などをとらえ収益確保を目指す取引）の市

市場リスクの状況

(トレーディング取引)

一定の前提条件をもとにVaR（想定最大損失額：バリュー・アット・リスク）をリスクとして認識しています。前提条件は以下のとおりです。

保有期間：1日

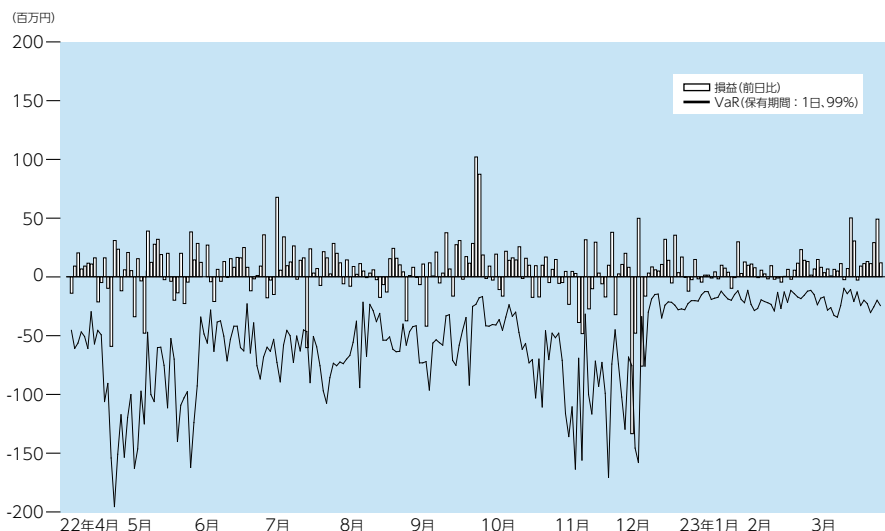
信頼水準：片側99%

観測期間：1年間

※上記前提条件のもと計測した平成22年度の市場リスクは右記のグラフのとおり推移いたしました。

(単位：百万円)			
	最大値	最小値	平均
VaR	196	11	57

リスク量と損益の推移 <トレーディング取引>



場リスクについては、日次でのVaRの計測、定期的なストレステスト(市場の急変動などを想定した最悪時の損失額の推計・検証)の実施に加え、取引限度額の設定やロスカットルールの厳正な運用により、リスクを限定し、大きな損失の発生を未然に防いでいます。

市場部門の組織については、取引執行部署(フロントオフィス:「市場営業部」、海外店)と業務管理部署(バックオフィス:「市場業務部」)を分離し、さらにリスク管理部署(ミドルオフィス:「リスク管理部市場リスクグループ」)を設置することで、相互に牽制する体制をとっています。

流動性リスク管理体制

流動性リスクは、資金繰りリスクと市場流動性リスクからなります。資金繰りリスクとは、金融機関の財務内容の悪化などにより必要な資金が確保できなくなり、資金繰りがつかなくなる場合や、資金の確保に通常よりも著しく高い金利での資金調達を余儀なくされることにより損失を被るリスクです。また、市場流動性リスクとは、市場の混乱などにより市場において取引ができなかったり、通常よりも著しく不利な価格での取引を余儀なくされることにより損失を被るリスクです。

当行では、「市場営業部」が資金繰り管理部署として、マーケット環境の把握、資金の運用調達状況の分析などを行っており、資金繰りリスクに対しては、市場調達額が過大とならないように一

定の限度額を設定しているほか、短期間で資金化できる資産を流動性準備として一定水準以上保有するよう定めることなどで、日々適切な資金繰り管理を実施しています。また、市場流動性リスクに対しては、各市場取引におけるポジション限度枠の設定により対応しています。

「リスク管理部市場リスクグループ」は、リスク管理部署として、流動性リスクに与えるさまざまな要因を特定・評価するとともに、各種限度枠などの遵守状況についてモニタリングし、流動性リスクの増大を招かないよう努めています。

また、市場リスクと同様に、流動性リスクについても、「ALM委員会」の場で対応策を協議・決定しています。

なお、当行の資金繰りに影響を及ぼすような不測の事態が発生した場合も全行的に速やかに対処できるよう、業務継続計画を制定し、万全を期しています。

オペレーショナル・リスク管理体制

オペレーショナル・リスクとは、業務の過程、役職員の活動もしくはシステムが不適切であること、または外生的事象により損失が発生し得るリスクのことをいいます。

当行では、オペレーショナル・リスクを、事務リスク(次頁)、システムリスク(次頁)、人的リスク、有形資産リスク、風評リスクに分類しています。人的リスクとは、職場の安全環境や差別行為など

に起因して損失が発生するリスクをいい、有形資産リスクとは、建物・設備の毀損などにより損失が発生するリスクをいいます。また、風評リスクとは、評判の悪化などにより信用が低下することから損失が発生するリスクをいいます。

リスク管理体制については、各リスク所管部署(事務リスク:「事務企画部」、システムリスク:「システム部」、人的リスク及び有形資産リスク:「経営管理部」)を定めるとともに、リスク統括部署である「リスク管理部リスク統括グループ」の統括管理のもとに連携してリスク管理を行っています。なお、風評リスクについては、「リスク管理部リスク統括グループ」が直接管理し、また、各リスクに含まれる法務リスク及びコンプライアンスに係るリスクについては、各リスク所管部署と「コンプライアンス部」が連携して管理します。

また、「オペレーショナル・リスク管理委員会」を設置し、経営の直接関与のもと、オペレーショナル・リスク損失事象などに関する報告を受け管理方針を策定し(Plan)、管理規定類に則った実施(Do)、また評価・改善(Check&Action)していくという、「PDCA



サイクル]により、問題点の改善・是正を行う管理体制を構築しています。この一連の「PDCAサイクル」による管理の実効性確保のため、当行では、リスクの内容を特定・評価・把握・管理し、かつ削減するための方策を策定して実施するというCSA(Control Self Assessment)を導入しています。CSAによる管理とは、当行で生じたオペレーショナル・リスク損失事象に対応するとともに、他行や他業態で発生した損失事象を踏まえて、当行の管理体制で十分かどうかを評価し、必要に応じて対策を打つことで、未然にリスク顕在化を防止するというものです。

事務リスク管理体制

事務リスクとは、正確な事務を怠ったり、事故・不正などを起こす、またはお客さまに対する職務上の義務や説明などを怠ることによって損失を被るリスクです。

お客さまから信用を得るためには正確な事務処理が不可欠と考え、当行では「事務企画部」が中心となり、基本に則った厳正な事務を行い、事故の未然防止に努めています。

具体的には、業務毎に詳細な事務手順を示した事務基準を制定しているほか、現金・手形・通帳など重要物の厳正な取扱いの徹底、営業店や本部の事務管理体制の指導、事務水準向上のための研修を行っています。

また、各営業店で実施している自店検査についても、「事務企画部」がモニタリングや検証を実施

することにより、事務の正確性確保と事務水準の向上に努めています。

監査体制としては、「監査部」がすべての営業店及び本部各部・室に原則として年1回以上立ち入り、基準に従って業務全般にわたる厳格な監査を実施しています。これらの結果を各営業店、部・室に遅滞なく通知するとともに、取締役会で定期的に報告し、業務改善に反映できる仕組みとしています。

システムリスク管理体制

システムリスクとは、当行が保有している情報の漏洩や改ざん、コンピュータシステムの不正使用や停止・誤作動といった障害などに伴い損失を被るリスクです。

当行は、お客さまのお取引データなどさまざまな情報を保有しており、その情報を処理するためのシステムを構築しています。お客さまにさまざまなサービスを提供していくためにも、銀行業務におけるコンピュータシステムの役割は年々高まっており、システムリスクが顕在化した場合には、お客さまに多大なご迷惑をおかけすることにもなりかねません。このため、システムリスク管理の重要性は、ますます増大しているといえます。

当行では、「システム部」が中心となり、コンピュータシステムの安定稼働のためにさまざまな対策を講じています。具体的には、勘定系・情報系などの基幹システムについてはハードウェアや回線を二重化し、障害時には速

やかにもう一方に切り替えて業務を継続できる仕組みとしているほか、各部署が個々に使用しているシステムを含めたすべてのコンピュータシステムについて、データの厳正な管理、不正アクセスやウイルスの侵入防止、さらには大規模災害など不測の事態に備えたコンティンジェンシープラン(危機管理計画)の整備など、防犯・防災には万全を期しています。

また、「監査部」がコンピュータシステム全般の監査を実施しています。

業務継続体制

以上のリスク管理体制に加えて、地震災害や新型インフルエンザの流行といった不測の緊急事態が発生した場合においても、金融システム機能の維持に必要な業務を継続すること、中断を余儀なくされた場合には速やかに復旧することを目的に、「リスク管理部リスク統括グループ」が中心となり、業務継続体制を整備しています。

また、その実効性向上を図るべく、計画的に訓練を実施しています。東日本大震災の際は、発生後直ちに災害対策本部を設置して復旧に対応するなど、業務体制の維持に努めています。

バーゼルⅡへの対応

平成19年3月期より、バーゼルⅡ(新しい自己資本比率規制)が適用開始となりました。バーゼルⅡは、リスクに対する自己資本の

充実度を計測する最低所要自己資本比率を「第1の柱」とし、銀行自身による自己資本戦略の策定及び監督当局による検証を「第2の柱」とし、ディスクロージャーの充実をつうじた市場規律の確保を「第3の柱」とする3つの柱から構成されています。また、所要自己資本の計算方法は、リスクの状況や管理手法に応じて銀行が選択します。

当行では、「内部管理の高度化をつうじて業容を拡大する」ことを基本方針とし、統合的なリスク管理体制高度化の一環として、バーゼルⅡに対応しています。所要自己資本の計算では、信用リスクについては「基礎的内部格付手法」、オペレーショナル・リスクについては「粗利益配分手法」（いずれも監督当局による承認が必要な手法）を平成19年3月

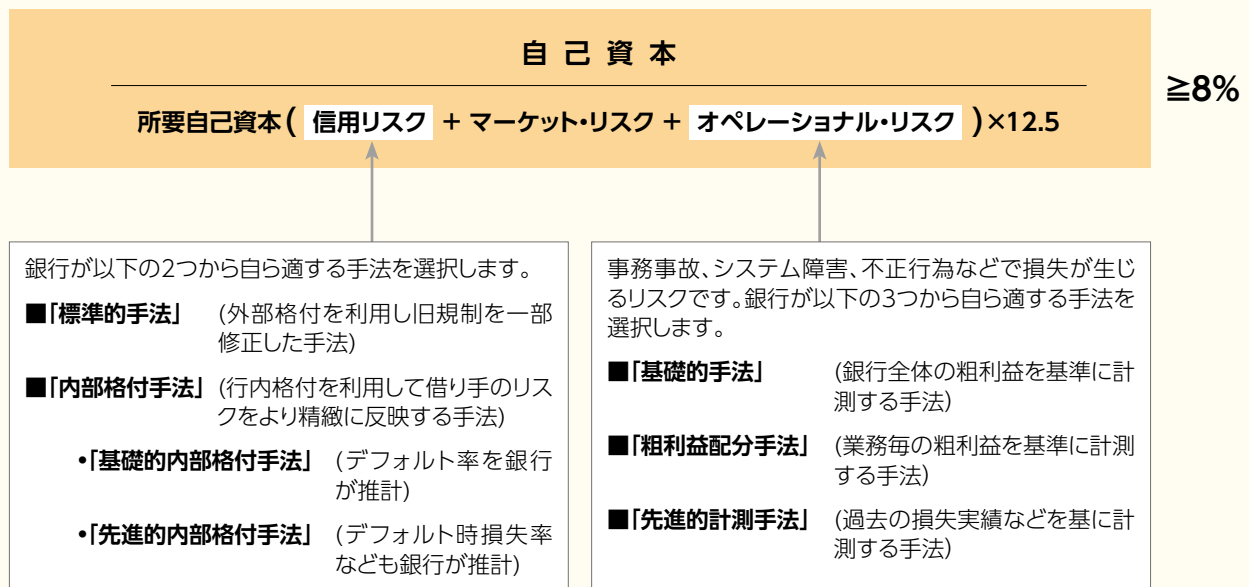
期より選択し、リスクをより精緻に自己資本比率に反映させています。

また、「第3の柱」として、本ディスクロージャー誌別冊「資料編 財務データ及び自己資本の充実の状況に係る説明資料」に、リスク管理の詳細（「内部格付制度」など）を含めた当行の自己資本の充実の状況を開示しています。

バーゼルⅡ 自己資本比率算出式

当行では、信用リスクについては「基礎的内部格付手法」、オペレーショナル・リスクについては「粗利益配分手法」を採用しています。

国際統一基準行



店舗・キャッシュコーナー一覧 (平成23年6月30日現在)

地区	本・支店
県内	156 (特別出張所5、出張所12、仮想店舗2)
県外	17 (東京都11、大阪府1、埼玉県3、茨城県2)
海外	3 (ニューヨーク、香港、ロンドン)
計	176

- 海外駐在員事務所 2 (上海、シンガポール)
- 両替出張所 3

千葉県

千葉市

[中央区]	
100	本店 [本店営業部] 043-245-1111
025	京成駅前支店 043-227-7351
004	県庁支店 043-227-5361
006	蘇我支店 043-265-2241
026	千葉駅前支店 043-227-8501
001	中央支店 043-222-8111
	中央支店千葉プラザ出張所 (ちばぎんコンサルティングプラザ千葉) 043-227-5211
005	長洲支店 043-227-6421
076	本店営業部 千葉市役所出張所 043-247-0991
034	松ヶ丘支店 043-261-5421

店舗外キャッシュコーナー

祝	イトーヨーカドー蘇我店	店1階
土	井上記念病院	病院1階ロビー
	がんセンター	千葉県がんセンター前
	県庁本庁舎	本庁舎5階
祝	JR蘇我駅西口(一時休業中)	JR蘇我駅西口
祝	JR千葉駅	ペリエ千葉ペリエ2京成千葉駅側
祝	JR本千葉駅前	JR本千葉駅前
	千葉県警察本部	庁舎1階
	千葉市立青葉病院	病院1階ロビー
祝	千葉そごう2号	そごう千葉店オーロラモール4階
祝	千葉そごう3号	そごう千葉店本館8階
祝	千葉大学医学部附属病院	病院地下1階派出内
祝	千葉都市モノレール千葉駅	千葉都市モノレール千葉駅3階改札前
祝	千葉プラザ	ちばぎんコンサルティングプラザ千葉内
祝	千葉三越	地下2階プライダルセンター隣
祝	西千葉	JR西千葉駅北口前

外国為替のご利用について

- 買…貿易取扱店
- 現…外貨現金取扱店
- …一般店(外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

店舗外キャッシュコーナーのご利用について

- 土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

祝	マルエツ蘇我南町店	店1階
祝	リブレ京成千葉寺店	店1階
[稲毛区]		
003	稲毛支店 043-243-9191	千葉市稲毛区稲毛東3-17-5 (JR稲毛駅前海側)
036	稲毛支店 あやめ台特別出張所 043-253-6001	千葉市稲毛区あやめ台1-13-101 (あやめ台団地内)
114	稲毛東口支店 043-284-8111	千葉市稲毛区小仲台2-3-12 (JR稲毛駅東口イオン前)
063	中央支店 穴川特別出張所 043-255-3811	千葉市稲毛区穴川3-1-18 (穴川十字路口国道126号沿い)

店舗外キャッシュコーナー

祝	ヴィルフォーレ稲毛	ヴィルフォーレ稲毛京成バス停前
	千葉大学	学生食堂1階
祝	マルエツみどり台店	1階入口前
祝	宮野木	京成団地バス停近く

[花見川区]

047	新検見川支店 043-271-0131	千葉市花見川区花園1-7-12 (JR新検見川駅前通り)
002	幕張支店 043-273-7111	千葉市花見川区幕張町5-470-1 (JR幕張駅前十字路)
113	幕張本郷支店 043-297-2011	千葉市花見川区幕張本郷1-2-20 (JR・京成幕張本郷駅前)

店舗外キャッシュコーナー

祝	イトーヨーカドー幕張店	1階入口前
祝	サミットストア花見川店	区役所隣店1階
祝	JR新検見川駅	JR新検見川駅改札前
祝	JR幕張駅北口駅前	JR幕張駅北口駅前
祝	ライフ宮野木店	県道実籾穴川線沿い店入口隣

[緑区]

092	鎌取支店 043-291-5611	千葉市緑区おゆみ野3-2-9 (JR鎌取駅前)
106	とけ支店 043-294-8121	千葉市緑区あすみが丘1-20-2 (JR土気駅前)
085	誉田支店 043-291-0555	千葉市緑区誉田町2-24-18 (JR誉田駅前)

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオンおゆみ野ショッピングセンター	商業施設1階
祝	ジャスコ鎌取店	店1階
祝	せんだう土気店	駐車場内
	千葉県こども病院	こども病院前
祝	ヤオコーおゆみ野店	しのぼり公園バス停前

買 … 貿易取扱店
現 … 外貨現金取扱店
■ … 一般店(外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
祝 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

[美浜区]		
071	新稲毛支店	千葉市美浜区高洲3-9-2 〒261-0004 (JR稲毛海岸駅前)
現		043-277-3011
040	本店営業部 幸町特別出張所	千葉市美浜区幸町2-24-27 〒261-0001 (国道14号沿い幸町団地内)
		043-241-5335
111	幕張新都心支店	千葉市美浜区中瀬2-6-1 〒261-7102 (ワールドビジネスガーデンマリブアネックス2階)
買 現		043-297-7890
	幕張オープンプラザ (幕張新都心支店内)	千葉市美浜区中瀬2-6-1 〒261-7102 (ワールドビジネスガーデンマリブアネックス2階)
		043-351-0131
065	真砂支店	千葉市美浜区真砂4-1-5 〒261-0011 (JR検見川浜駅前ショッピングセンターPIA 1階)
■		043-279-8111

店舗外キャッシュコーナー		
	キッツビル	ビル2階
	千葉市立海浜病院	病院1階ロビー
祝	千葉高洲	高洲第1団地内
祝	パティオス5番街	幕張ベイタウンパティオス5番街
	幕張テクノガーデン	B棟2階
祝	マリンピア	JR稲毛海岸駅前マリンピア1階
祝	メッセ・アミューズ・モール	メッセ・アミューズ・モール1階

[若葉区]		
055	大宮台支店	千葉市若葉区大宮台1-12-5 〒264-0015 (大宮台団地バス停前)
■		043-266-4311
064	千城台支店	千葉市若葉区千城台西1-1-1 〒264-0004 (モノレール千城台北駅前)
買		043-236-1111
051	都賀支店	千葉市若葉区都賀3-14-3 〒264-0025 (JR・モノレール都賀駅前)
買 現		043-232-2551
061	みつわ台支店	千葉市若葉区みつわ台3-11-2 〒264-0032 (モノレールみつわ台駅前)
買		043-255-3131

店舗外キャッシュコーナー		
祝	小倉台	モノレール小倉台駅前
祝	桜木町	国道51号沿い市営公園ななめ前
祝	西友都賀店	駐車場内
祝	東寺山ショッピングセンター	ショッピングセンター内
祝	ラパーク千城台	店1階

旭市		
265	旭支店	旭市口827-1 〒289-2516 (塚前十字路)
買		0479-62-2111

店舗外キャッシュコーナー		
	旭市役所	市役所1階
祝	旭ショッピングセンターサンモール	サンモール1階
祝	旭中央病院	病院1階

我孫子市		
007	我孫子支店	我孫子市本町2-2-16 〒270-1151 (JR我孫子駅前)
買 現		04-7182-3111
110	湖北支店	我孫子市湖北台1-18-1 〒270-1132 (JR湖北駅南口)
■		04-7187-3531
097	天王台支店	我孫子市柴崎台1-9-1 〒270-1176 (JR天王台駅北口)
買		04-7184-5351

店舗外キャッシュコーナー		
祝	アビクオーレ	JR我孫子駅前イトーヨーカドー1階
土	我孫子市役所	市役所正面入口横
祝	あびこショッピングプラザ	国道6号沿いエスパ3階
祝	布佐	県道千葉電ヶ崎線沿い

いすみ市		
244	大原支店	いすみ市大原8666 〒298-0004 (仲町通り)
買 現		0470-62-1211
245	長者支店	いすみ市岬町長者488-1 〒299-4616 (長者本通り)
■		0470-87-2431

市川市		
011	市川支店	市川市市川1-7-12 〒272-0034 (JR市川駅前)
買 現		047-322-0161
089	市川支店 市川市役所出張所	市川市八幡1-1-1 〒272-0021 (市川市役所1階)
		047-334-1568
046	行徳支店	市川市行徳駅前2-14-1 〒272-0133 (東西線行徳駅前)
買		047-397-7111
091	南行徳支店	市川市相之川4-8-5 〒272-0143 (東西線南行徳駅前)
買 現		047-358-4001
012	本八幡支店	市川市八幡2-5-8 〒272-0021 (ガレリア・サララ1・2階)
買 現		047-322-0181
109	本八幡南支店	市川市南八幡4-17-2 〒272-0023 (JR本八幡駅南口駅前通り)
買		047-377-8751

店舗外キャッシュコーナー		
祝	市川大野駅前ビル	JR市川大野駅前ビル
祝	市川妙典サティ	1番街1階
祝	北方STハイツビル	市川税務署400m先ローソン隣ハイツビル1階
祝	京成国府台駅前	京成国府台駅前通り
祝	国分	県道鎌ヶ谷市川線沿い国分小学校近く
祝	JR市川駅	JR市川駅構内キヨスク隣
祝	JR本八幡駅前パティオ	1階入口隣
祝	西友新浜店	店1階
	東京歯科大学市川総合病院	病院1階ロビー
祝	ニッケコルトンプラザ	2階シャトルバス乗り場前
祝	若宮	若栄会通り

市原市		
203	姉崎支店	市原市姉崎484-1 〒299-0111 (JR姉ヶ崎駅前)
買 現		0436-61-1145
204	牛久支店	市原市牛久1210-1 〒290-0225 (小湊鉄道上総牛久駅前商店街)
買		0436-92-1211
202	五井支店	市原市五井中央西2-7-1 〒290-0081 (JR五井駅西口前)
買 現		0436-21-2141
214	五井支店 市原市役所出張所	市原市国分寺台中央1-1-1 〒290-8501 (市原市役所1階)
		0436-21-6611
216	辰巳台支店	市原市辰巳台東1-1-2 〒290-0003 (辰巳台団地内)
■		0436-74-5551

132	ちはら台支店	市原市ちはら台西5-5-1 〒290-0143 (ちはら台公園向かい)	0436-76-0561
-----	--------	--	--------------

201	八幡支店	市原市八幡1059-22 〒290-0062 (JR八幡宿駅前)	0436-41-1331
-----	------	-------------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	アピタ市原店	1階入口
祝	泉台	泉台団地入口
祝	イトーヨーカドー姉崎店	店1階
祝	イトーヨーカドー市原店前	入口前
祝	馬立	国道297号線馬立新水神橋際
祝	桜台	桜台団地入口Aコープ前
祝	JR姉ヶ崎駅	JR姉ヶ崎駅西口
祝	JR五井駅東口	JR五井駅東口駅前
祝	スーパーたかはし	駐車場内
祝	せんだう国分寺台店	店入口右側
祝	せんだう千原台店	帝京平成短大前
祝	マックスパリュ辰巳台店	店1階
祝	ユニモちはら台	ユニモちはら台1階

印西市

285	印西支店	印西市大森3877 〒270-1327 (木下街道沿い)	0476-42-3227
-----	------	---------------------------------	--------------

134	印西牧の原支店	印西市中央南1-5-1 〒270-1340 (千葉ニュータウン支店内(店舗内店舗))	0476-47-1901
-----	---------	---	--------------

296	千葉ニュータウン支店	印西市中央南1-5-1 〒270-1340 (北総鉄道千葉ニュータウン中央駅前)	0476-46-1511
-----	------------	---	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオン千葉ニュータウンショッピングセンター	ジャスコ棟1階
祝	印西市役所	市役所駐車場内
祝	印西牧の原駅	北総鉄道印西牧の原駅改札前
祝	小林	JR小林駅前
祝	滝野プラザ	滝野ショッピングモール沿い
祝	千葉ニュータウン中央駅北口	北口ロータリー
土	日本医科大学付属千葉北総病院	病院1階ロビー
祝	牧の原MORE	フードコート脇

浦安市

013	浦安支店	浦安市北栄1-16-8 〒279-0002 (東西線浦安駅前)	047-351-2141
-----	------	------------------------------------	--------------

072	新浦安支店	浦安市入船1-5-1 〒279-0012 (JR新浦安駅前)	047-354-2011
-----	-------	-----------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	イクスピアリ	店2階
祝	イトーヨーカドー新浦安店	店1階
祝	JR舞浜駅	JR舞浜駅構内
祝	マルエツ浦安店前	市道大三角線沿いマルエツ前

柏市

008	柏支店	柏市中央1-1-1 〒277-0023 (JR柏駅東口・旧水戸街道交差点)	04-7167-0111
-----	-----	--	--------------

081	柏支店柏市役所出張所	柏市柏5-10-1 〒277-0005 (柏市役所第2庁舎2階)	04-7166-5390
-----	------------	-------------------------------------	--------------

現	柏支店柏プラザ出張所 (ちばぎんコンサルティングプラザ柏)	柏市柏1-1-21 〒277-0005 (JR柏駅東口前そごう柏店2階)	04-7160-1311
---	----------------------------------	---	--------------

現	柏支店 柏ローンプラザ出張所	柏市中央1-1-1 〒277-0023 (ちばぎん柏ビル5階)	04-7163-7111
---	-------------------	------------------------------------	--------------

098	柏支店沼南出張所	柏市大津ヶ丘1-56-21 〒277-0921 (柏市沼南庁舎近く)	04-7191-6451
-----	----------	---------------------------------------	--------------

052	柏西口支店	柏市末広町5-19 〒277-0842 (JR柏駅西口交差点)	04-7143-2221
-----	-------	------------------------------------	--------------

028	柏西口支店 豊四季特別出張所	柏市豊四季台1-1-115 〒277-0845 (豊四季台団地・管理事務所前)	04-7143-6161
-----	-------------------	--	--------------

122	柏の葉キャンパス支店	柏市若柴174 〒277-0871 (TXアベニュー柏の葉内)	04-7131-1971
-----	------------	------------------------------------	--------------

087	花野井支店	柏市花野井681 〒277-0812 (柏市総合卸売市場前)	04-7131-7121
-----	-------	-----------------------------------	--------------

059	増尾支店	柏市加賀3-24-15 〒277-0051 (東武野田線増尾駅前)	04-7174-7111
-----	------	--------------------------------------	--------------

074	南柏支店	柏市今谷上町45-1 〒277-0074 (JR南柏駅東口・今谷交差点)	04-7173-6111
-----	------	---	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオン柏ショッピングセンター	店1階
祝	いなげや南増尾店	北側駐車場
祝	柏駅前	JR柏駅東口柏そごう2階
祝	北柏駅前	JR北柏駅前
祝	東武ストア新柏店	東武野田線新柏駅前店隣
祝	光ヶ丘	東武光ヶ丘バス停前マツモトキヨシ内
祝	南柏駅西口	JR南柏駅西口
祝	ららぽーと柏の葉	店1階
祝	リブレ京成しいの木台店	駐車場側店入口
祝	麗澤大学	大学構内研究室棟隣

勝浦市

242	勝浦支店	勝浦市墨名725-3 〒299-5225 (墨名交差点)	0470-73-1121
-----	------	---------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	興津	JR上総興津駅前通り
祝	国際武道大学	大学構内

香取市

282	小見川支店	香取市小見川268-1 〒289-0313 (本町通り)	0478-82-2131
-----	-------	---------------------------------	--------------

283	佐原支店	香取市佐原イ586-5 〒287-0003 (横宿通り)	0478-54-1211
-----	------	---------------------------------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	小見川区事務所	区事務所1階ロビー
祝	香取市役所	市役所入口前
祝	サワラシティ	ショッピングモール1階

買 … 貿易取扱店
現 … 外貨現金取扱店
■ … 一般店(外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
祝 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

鎌ヶ谷市

043 鎌ヶ谷支店 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-8-17 〒273-0107
 (新鎌ヶ谷Fタワー1・2階) 047-444-2111

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 イオン鎌ヶ谷ショッピングセンター 店1階
- 鎌ヶ谷市役所 市役所1階
- 祝 鎌ヶ谷大仏駅 新京成鎌ヶ谷大仏駅構内
- 祝 くぬぎ山 新京成くぬぎ山駅西口
- 祝 東武鎌ヶ谷駅 東武野田線鎌ヶ谷駅西口
- 祝 マツモトキヨシ鎌ヶ谷店 店入口前
- 祝 鎌ヶ谷中央 鎌ヶ谷中学校通り

鴨川市

231 天津支店 鴨川市天津1221-10 〒299-5503
 (国道128号沿い) 04-7094-0521

229 鴨川支店 鴨川市横渚941-4 〒296-0001
 (JR安房鴨川駅前) 04-7092-1211

店舗外キャッシュコーナー

- 鴨川市役所 入口正面
- 祝 ベイシア鴨川店 正面入口隣

木更津市

205 木更津支店 木更津市中央2-1-21 〒292-0067
 (本町通り) 0438-23-8181

212 木更津東支店 木更津市大和1-2-4 〒292-0805
 (JR木更津駅東口駅前通り) 0438-23-5281

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 いなげや木更津請西店 店舗内入口付近
- 祝 かずさアカデミアパーク センター1階
- 木更津市役所 市役所2階ロビー
- 祝 清見台 清見台土地組合事務所前
- 祝 ジャスコ木更津店 駐車場内
- 祝 アクア木更津 アクア木更津1階
- 祝 ロックタウン木更津 ロックタウン木更津休憩コーナー内

君津市

213 君津支店 君津市東坂田1-2-13 〒299-1144
 (JR君津駅前) 0439-55-2511

206 久留里支店 君津市久留里市場182 〒292-0421
 (仲町通り) 0439-27-2511

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 アピタ君津店 店舗入口
- 祝 いなげや君津店 駐車場入口
- 芙蓉会 JR上総松丘駅キャラの木クアセンター前

佐倉市

298 うすい支店 佐倉市王子台1-28-8 〒285-0837
 (京成臼井駅前) 043-462-1177

287 佐倉支店 佐倉市新町17 〒285-0023
 (新町商店街通り) 043-484-2131

289 志津支店 佐倉市上志津1656-31 〒285-0846
 (京成志津駅前通り) 043-487-1231

292 ユーカリが丘支店 佐倉市ユーカリが丘3-1-7 〒285-0858
 (京成ユーカリが丘駅北口) 043-461-8111

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 いなげや佐倉店 駐車場内
- 祝 臼井駅北口 京成臼井駅北口ロータリー
- 祝 勝田台駅北口駅前 京成勝田台駅北口前
- 祝 佐倉市役所 市役所駐車場内
- 祝 JR佐倉駅南口 JR佐倉駅南口ロータリー
- 祝 聖隷佐倉市民病院 病院1階ロビー
- 祝 トウズ京成佐倉店 駐車場内
- 土 東邦大学佐倉病院 病院1階ロビー
- 祝 ユーカリが丘駅南口 スカイプラザステーションタワー2階
- 祝 レイクピアウスイ 京成臼井駅前ジャスコ1階南側入口
- 祝 山万ビオトピア・プラザ 1階入口
- 祝 ヤオコー佐倉染井野店 七井戸公園隣り

山武市

261 成東支店 山武市津辺289-5 〒289-1345
 (JR成東駅前通り) 0475-82-2511

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 オライはすめま 道の駅オライはすめまレストラン前
- 山武市役所 市役所入口
- 松尾支所 支所庁舎前
- 祝 ラパーク成東店 店1階
- 祝 ランドローム山武店 店舗入口横

白井市

083 白井支店 白井市富士50-38 〒270-1432
 (木下街道白井開拓バス停前) 047-444-8111

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 白井市役所 市役所隣

匝瑳市

263 八日市場支店 匝瑳市八日市場イ2470 〒289-2144
 (西本町通り) 0479-72-1241

店舗外キャッシュコーナー

- 匝瑳市役所 市役所入口

袖ヶ浦市

215 袖ヶ浦支店 袖ヶ浦市福王台1-12-1 〒299-0261
 (JR袖ヶ浦駅前福王台入口) 0438-62-8181

店舗外キャッシュコーナー

- 袖ヶ浦市役所 市役所入口横
- 祝 長浦駅前 JR長浦駅前通り

館山市

224 館山支店 館山市北条1823 〒294-0045
 (銀座通り) 0470-22-4111

225 館山支店 館山市館山1026 〒294-0036
 (下町十字路) 0470-22-2206

223 那古船形支店 館山市船形285-1 〒294-0056 (JR那古船形駅前県道十字路) 0470-27-3311

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 オドヤスーパーセンター館山店 入口横
- 館山市役所 市役所正面入口横
- 祝 ロックシティ館山 ショッピングセンター1階

銚子市

266 銚子支店 銚子市新生町1-47-1 〒288-0056 (新生通り) 0479-22-2400

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 イオン銚子ショッピングセンター モール専門店1階
- 祝 銚子駅 JR銚子駅前
- 銚子市役所 市役所1階

東金市

250 東金支店 東金市東金1060-6 〒283-0802 (JR東金駅入口バス停前) 0475-54-1151

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 浅井病院 浅井病院駐車場入口
- 土 城西国際大学 大学構内学生ホール前
- 祝 東金サンピア 店2階
- 東金市役所 市役所1階
- 祝 東金レイクサイドビル スーパーカワグチ隣

富里市

295 富里支店 富里市七栄651-96 〒286-0221 (富里市役所通り) 0476-93-9121

店舗外キャッシュコーナー

- 富里市役所 市役所正面入口右側

流山市

079 江戸川台支店 流山市江戸川台西2-4-1 〒270-0115 (東武野田線江戸川台駅前) 04-7154-1411

126 流山おおたかの森支店 流山市市野谷665-40 〒270-0137 (東深井市野谷線沿い) 04-7158-2710

049 流山支店 流山市流山2-316-1 〒270-0164 (総武流山電鉄流山駅前県道沿い) 04-7158-2511

054 初石支店 流山市西初石3-1447-15 〒270-0121 (東武野田線初石駅前) 04-7153-2111

108 南流山支店 流山市南流山1-8-1 〒270-0163 (JR南流山駅前) 04-7150-2461

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 イトーヨーカドー流山店 総武流山電鉄平和台駅前店1階
- 祝 コープ東深井 流山街道沿い
- 祝 つくばエクスプレス南流山駅 つくばエクスプレス南流山駅改札口前
- 祝 東武江戸川台駅東口 東武野田線江戸川台駅東口駅前
- 祝 流山おおたかの森ショッピングセンター ショッピングセンター1階
- 流山市役所 市役所1階ロビー
- 祝 マルエツ初石店 東武野田線初石駅近くマルエツ隣

習志野市

016 津田沼支店 習志野市津田沼5-12-4 〒275-0016 (京成津田沼駅前) 047-452-2111

038 習志野袖ヶ浦支店 習志野市袖ヶ浦3-5-3 〒275-0021 (袖ヶ浦団地入口) 047-452-1261

078 実籾支店 習志野市実籾5-3-27 〒275-0002 (京成実籾駅前通り) 047-478-7171

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 イトーヨーカドー津田沼店 店2階
- 祝 イトーヨーカドー東習志野店 店1階
- 祝 京成津田沼駅 京成津田沼駅改札前
- 祝 JR津田沼駅 JR津田沼駅北口広場バス停前
- 習志野市役所 市役所1階新館通路
- 祝 マルエツ大久保駅前店 京成大久保駅前
- 祝 谷津 京成谷津駅前

成田市

286 成田支店 成田市花崎町536 〒286-0033 (JR成田駅前通り) 0476-22-2511

300 成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル2階) 0476-33-1421

成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル1階) 0476-34-6065

成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル3階制限エリア内) 0476-34-6060

成田空港支店 成田市古込字古込1-1 〒282-0004 (成田国際空港第2旅客ターミナルビル3階) 0476-33-2930

290 成田西支店 成田市赤坂2-1-15 〒286-0017 (ボンベルタ百貨店隣) 0476-26-3531

店舗外キャッシュコーナー

- 祝 イオン成田ショッピングセンター 専門店モール1階
- 祝 下総支所 支所駐車場内
- 祝 ジャスコイオン成田店 店1階
- 大栄支所 支所入口前
- 祝 成田国際空港第1ターミナル北ウイング 第1ターミナルビル北ウイング4階
- 祝 成田国際空港第1ターミナル南ウイング 第1ターミナルビル南ウイング4階
- 祝 成田国際空港第2ターミナル 第2ターミナルビル1階
- 成田市役所 市役所1階
- 祝 成田ユアエルム 京成公津の杜駅前店1階
- 祝 ボンベルタ 店4階
- 祝 ヨークマート成田店 駐車場内

野田市

075 川間支店 野田市尾崎811-29 〒270-0235 (東武野田線川間駅前) 04-7129-6011

093 関宿支店 野田市東宝珠花545-2 〒270-0226 (いちいのホール入口バス停前) 04-7198-4411

009 野田支店 野田市野田350-11 〒278-0037 (仲町消防会館前) 04-7124-4111

資 … 貿易取扱店

現 … 外貨現金取扱店

… 一般店 (外国送金及び旅行小切手 (T/C) の買取等一部業務のみ取扱い)

土 … 土曜日も稼働 (日・祝日は稼働いたしません)

祝 … 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

店舗外キャッシュコーナー

祝	いなげや野田みずき店	店舗内
祝	大殿井	電建住宅団地入口
祝	清水公園	東武野田線清水公園駅前
祝	ジャスコノア店	1階郵便局前
	関宿支所	支所前
	野田市役所	市役所1階
祝	ロックタウン野田七光台	マックスパリュ隣

富津市

209	大佐和支店	富津市岩瀬1056-1 〒293-0043 (大貫岩瀬橋際)	0439-65-0661
207	富津支店	富津市大堀1-1-2 〒293-0001 (JR青堀駅前通り)	0439-87-1121
211	湊支店	富津市湊212-1 〒299-1607 (湊町バス停前)	0439-67-0611

店舗外キャッシュコーナー

	富津市役所	市役所1階当行派出隣
祝	富津ショッピングセンター	センター3階
祝	富津西部	東町商店街内

船橋市

067	小室支店	船橋市小室町1157 〒270-1471 (北総鉄道小室駅前)	047-457-1111
027	高根台支店	船橋市高根台1-2-1 〒274-0065 (新京成高根公園駅前)	047-466-0121
030	津田沼駅前支店	船橋市前原西2-19-1 〒274-0825 (JR津田沼駅前)	047-472-6141
014	中山支店	船橋市本中山2-19-14 〒273-0035 (JR下総中山駅前十字路)	047-334-1145
037	習志野台支店	船橋市習志野台3-2-1 〒274-0063 (新京成北習志野駅前)	047-466-6151
029	西船橋支店	船橋市西船4-23-13 〒273-0031 (JR西船橋駅前)	047-434-3311
062	はざま支店	船橋市芝山3-10-7 〒274-0816 (芝山団地内)	047-464-6961
084	二和向台支店	船橋市二和東6-17-37 〒274-0805 (新京成二和向台駅前商店街)	047-449-1111
015	船橋支店	船橋市本町3-3-4 〒273-0005 (本町通り商店街)	047-422-4161
069	船橋支店 船橋市役所出張所	船橋市湊町2-10-25 〒273-0011 (船橋市役所1階)	047-436-2777
058	船橋北口支店	船橋市本町7-12-24 〒273-0005 (JR船橋駅北口駅前通り)	047-424-3151
	船橋北口支店船橋プラザ出張所 (ちばぎんコンサルティングプラザ船橋)	船橋市本町7-12-23 〒273-0005 (船橋北口支店横)	047-424-1931
096	薬円台支店	船橋市薬円台6-1-1 〒274-0077 (新京成薬園台駅ビル1階)	047-468-0311

店舗外キャッシュコーナー

祝	イケア船橋	店1階
---	-------	-----

祝	ウェルシア薬局船橋田喜野井店	店1階
祝	京成船橋駅西口	西口改札前
祝	コープ薬円台	駐車場内
祝	新京成習志野駅前	新京成習志野駅前スリーエフ隣
祝	JR西船橋駅	JR西船橋駅構内武蔵野線通路
祝	高根木戸駅前	新京成高根木戸駅前
祝	滝不動	新京成滝不動駅前
祝	東武百貨店船橋店	東武百貨店2階
祝	原木中山駅前	東西線原木中山駅前サンクス隣
祝	東船橋駅前	JR東船橋駅南口ロータリー角
祝	船橋行田	行田団地商店街
	船橋市立医療センター	センター玄関隣
祝	前原	新京成前原駅前
祝	馬込沢駅前	東武野田線馬込沢駅西側
祝	三咲駅	新京成三咲駅前
祝	ヨークマート夏見台店	店1階
祝	ららぽーと	ららぽーと内1階

松戸市

102	鎌ヶ谷支店 六実出張所	松戸市六実4-3-1 〒270-2204 (東武野田線六実駅バス停前)	047-386-1175
042	小金原支店	松戸市小金原6-1-1 〒270-0021 (小金原団地・小金原病院隣)	047-341-4115
101	五香支店	松戸市常盤平5-19-1 〒270-2261 (新京成五香駅西口ビル内)	047-384-2021
066	新松戸支店	松戸市新松戸1-361-2 〒270-0034 (JR新松戸駅前)	047-343-5101
053	高塚支店	松戸市高塚新田158-41 〒270-2222 (高塚入口バス停そば)	047-391-5221
031	常盤平支店	松戸市常盤平1-29-3 〒270-2261 (新京成常盤平駅ビル内)	047-388-1231
010	松戸支店	松戸市本町7-10 〒271-0091 (JR松戸駅西口)	047-364-2101
077	松戸支店 松戸市役所出張所	松戸市根本387-5 〒271-0077 (松戸市役所1階)	047-368-7621
056	松飛台支店	松戸市松飛台192-1 〒270-2214 (松飛台工業団地入口)	047-386-7111
039	馬橋支店	松戸市馬橋107 〒271-0051 (JR馬橋駅前)	047-341-2101
057	矢切支店	松戸市三矢小台3-2-1 〒271-0087 (上矢切バス停前)	047-365-2181
068	八柱支店	松戸市日暮1-3-1 〒270-2253 (新京成八柱駅・JR新八柱駅前)	047-385-3131

店舗外キャッシュコーナー

祝	北松戸駅前	JR北松戸駅東口駅前
	千葉大学園芸学部	緑風会館内
祝	八ヶ崎	あずまバス停前
土	松戸市立病院	病院1階ロビー
祝	松戸東口	JR松戸駅東口前

祝 馬橋駅西口 馬橋駅西口マツモトキヨシ隣

南房総市

226	白浜支店	南房総市白浜町白浜2696-1 (白浜バス停前)	〒295-0102	0470-38-4111
227	千倉支店	南房総市千倉町北朝夷2798 (北千倉バス停前)	〒295-0011	0470-44-1511
228	和田支店	南房総市和田町和田403-1 (和田バス停前)	〒299-2704	0470-47-3311

店舗外キャッシュコーナー

千倉支所	支所入口左
南房総市役所	駐車場内

茂原市

248	茂原支店	茂原市茂原365-1 (茂原銀座通り)	〒297-0026	0475-24-2111
252	茂原東支店	茂原市町保1-10 (JR茂原駅前)	〒297-0022	0475-24-6611
255	茂原南支店	茂原市千代田町2-3-2 (JR茂原駅南口千代田通り)	〒297-0023	0475-22-1855

店舗外キャッシュコーナー

祝	カインズホーム茂原店	国道128号沿い店入口
祝	ジャスコ茂原店	駐車場側入口横
祝	ホームック茂原店	県道茂原線沿い店入口
祝	茂原市役所	市役所正面ロータリー横
祝	茂原ショッピングプラザ	ケーヨーD2入口横

八街市

288	八街支店	八街市八街ほ238-37 (JR八街駅前通り)	〒289-1115	043-443-2011
-----	------	-------------------------	-----------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	古谷プラザ	駐車場内
祝	マックスバリュ八街店	1階入口前
	八街市役所	市役所駐車場内
祝	ランドマーク八街店	正面入口隣

八千代市

035	大和田支店	八千代市大和田297-20 (京成大和田駅前通り)	〒276-0045	047-484-8111
041	勝田台支店	八千代市勝田台2-4-3 (京成勝田台駅前十字路)	〒276-0023	047-483-1311
112	新八千代支店	八千代市ゆりのき台4-1-10 (東葉高速鉄道八千代中央駅前)	〒276-0042	047-486-6111
045	八千代支店	八千代市八千代台東1-1-10 (ユアエルム八千代台店1階)	〒276-0032	047-483-2211
048	八千代緑が丘支店	八千代市緑が丘1-1-1 (東葉高速鉄道八千代緑が丘駅前)	〒276-0049	047-450-1311

店舗外キャッシュコーナー

祝	イオン八千代緑が丘ショッピングセンター	店1階駐車場脇
祝	イトーヨーカドー八千代店	店1階
祝	京成勝田台駅	駅地下通路売店街内

祝 高津 高津団地ショッピングセンター内

±	東京女子医科大学八千代医療センター	1階ロビー
	八千代市役所	市役所1階入口右
祝	八千代台ビル	ちばぎん証券八千代支店1階入口前
祝	八千代台駅西口	八千代台駅西口ロータリー前

四街道市

301	四街道支店	四街道市鹿渡2001-8 (JR四街道駅前通り)	〒284-0003	043-422-1511
-----	-------	--------------------------	-----------	--------------

店舗外キャッシュコーナー

祝	旭ヶ丘	旭ヶ丘商店街
祝	イトーヨーカドー四街道店	店1階
祝	長崎屋四街道店	1階入口
祝	四街道市役所	市役所入口隣

安房郡

222	鋸南支店	安房郡鋸南町竜島847-1 (JR安房勝山駅前通り)	〒299-2118	0470-55-1611
-----	------	----------------------------	-----------	--------------

夷隅郡

246	大多喜支店	夷隅郡大多喜町桜台63 (桜台三ツ角)	〒298-0213	0470-82-3111
243	御宿支店	夷隅郡御宿町須賀505-6 (JR御宿駅前通り交差点)	〒299-5106	0470-68-2321

店舗外キャッシュコーナー

祝	おおたきショッピングプラザ	店1階
---	---------------	-----

印旛郡

293	安食支店	印旛郡栄町安食2170-20 (「ナリタヤ安食店」敷地内)	〒270-1516	0476-95-2111
297	酒々井支店	印旛郡酒々井町中央台1-29-7 (JR酒々井駅西側)	〒285-0922	043-496-1221

店舗外キャッシュコーナー

酒々井町役場	町役場駐車場入口隣
--------	-----------

香取郡

284	神崎支店	香取郡神崎町神崎本宿2065 (河岸通り)	〒289-0221	0478-72-2331
281	笹川支店	香取郡東庄町笹川い679-3 (東庄交番100m先)	〒289-0601	0478-86-1125
264	多古支店	香取郡多古町多古2703 (仲町商店街沿い)	〒289-2241	0479-76-5111

店舗外キャッシュコーナー

多古町役場	町役場正面入口前
-------	----------

山武郡

249	大網支店	山武郡大網白里町駒込444-1 (JR大網駅前通り)	〒299-3235	0475-72-1181
251	九十九里支店	山武郡九十九里町片貝3516-1 (西の下)	〒283-0104	0475-76-4171
262	横芝支店	山武郡横芝光町横芝1339 (JR横芝駅前通り)	〒289-1732	0479-82-1221

- 買 … 貿易取扱店
- 現 … 外貨現金取扱店
- … 一般店(外国送金及び旅行小切手(T/C)の買取等一部業務のみ取扱い)

- 土 土曜日も稼働(日・祝日は稼働いたしません)
- 祝 土・日・祝日も稼働 / 無印は平日のみ稼働

店舗外キャッシュコーナー

祝 大網白里ショッピングセンター	センター1階
大網白里町役場	町役場入口
九十九里町役場	町役場入口
祝 サビア横芝	店1階
祝 芝山町役場	町役場入口
祝 ベイシア大網白里店	店舗入口横
横芝光町役場	役場庁舎前

長生郡

247	長生郡一宮町一宮2956-1 〒299-4301 (国道128号沿い(別称大通り))
買 一宮支店	0475-42-3611

店舗外キャッシュコーナー

一宮町役場	町役場1階
-------	-------

東京都

017	千代田区岩本町3-10-1 〒101-0032 (岩本町交差点)
買 現 秋葉原支店	03-3863-2151
120	江戸川区中葛西5-34-13 〒134-0083 (東京メトロ東西線葛西駅前)
買 現 葛西支店	03-5675-4021
024	葛飾区金町6-2-1 〒125-0042 (ヴィナシス金町1階)
買 金町支店	03-3607-4121
032	墨田区江東橋2-13-7 〒130-0022 (国道14号沿い)
買 錦糸町支店	03-3633-7011
023	葛飾区新小岩1-53-10 〒124-0024 (朝日生命新小岩ビル2階)
買 小岩支店	03-5662-9481
115	江戸川区篠崎町7-27-23 〒133-0061 (都営新宿線篠崎駅前)
買 篠崎支店	03-5243-1501
020	新宿区西新宿2-4-1 〒163-0802 (新宿NSビル2階)
買 新宿支店	03-3344-1661
123	足立区千住1-4-1 〒120-0034 (東京芸術センター1階)
買 千住支店	03-5284-1051
018	中央区日本橋室町2-2-1 〒103-0022 (室町東三井ビルディング10階)
買 東京営業部	03-3270-8351
124	江東区富岡2-1-9 〒135-0047 (永代通り沿いINV富岡ビル2階)
買 深川支店	03-5639-2451

107	江戸川区南篠崎町2-10-7 〒133-0065 (都営新宿線瑞江駅前通り)
買 みずえ支店	03-3698-8561

店舗外キャッシュコーナー

祝 JR小岩駅南口	小岩駅南口サンロード沿い
祝 都営地下鉄船堀駅	都営地下鉄新宿線船堀駅改札前
祝 コレド室町	コレド室町1階

大阪府

401	大阪市中央区本町4-1-7 〒541-0053 (御堂筋北御堂隣)
買 大阪支店	06-6261-3531

埼玉県

125	越谷市大成町5-401-1 〒343-0825 (JR越谷レイクタウン駅北口ロータリー)
買 越谷レイクタウン支店	048-961-2101
133	三郷市谷中409-1 〒341-0032 (つくばエクスプレス三郷中央駅北側)
買 三郷中央支店	048-953-8911
121	八潮市大字大瀬780-1 〒340-0822 (つくばエクスプレス八潮駅前ロータリー)
買 現 八潮駅前支店	048-994-4370

茨城県

128	神栖市神栖1-16-30 〒314-0143 (国道124号線沿い鹿島セントラルホテル向かい)
買 現 神栖支店	0299-95-5251
131	守谷市中央1-23-9 〒302-0115 (つくばエクスプレス守谷駅中央西口ロータリー前)
買 現 守谷支店	0297-46-1101

海外支店

451	ニューヨーク支店 1133 Avenue of the Americas, 15th Floor, New York, N.Y.10036, U.S.A.	TEL: 1-212-354-7777
452	香港支店 Unit 2510, One Pacific Place, 88 Queensway, Hong Kong	TEL: 852-2840-1222
454	ロンドン支店 3rd Floor, Regina House, 1 Queen Street, London EC4N 1SW, The United Kingdom	TEL: 44-20-7315-3111

海外駐在員事務所

上海駐在員事務所 中華人民共和国 上海市延安西路2201號 上海国際貿易中心 707室	TEL: 86-21-62780482
シンガポール駐在員事務所 50 Raffles Place, #10-06 Singapore Land Tower, Singapore 048623	TEL: 65-6438-4525

銀行代理店

銀行代理業者の原簿

本原簿については、銀行法第52条の60第1項及び同法施行規則第34条の64第1項の規定に基づくものです。

記

銀行代理業者の商号	東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 株式会社セブン銀行 代表取締役社長 二子石 謙輔			
銀行代理業の内容	(1)預金又は定期積金等の受入れを内容とする契約の締結の代理又は媒介 (2)資金の貸付け又は手形の割引を内容とする契約の締結の代理又は媒介 (3)為替取引を内容とする契約の締結の代理又は媒介			
銀行代理業を営む営業所の名称及び所在地	千葉県千葉市中央区川崎町52番地7 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー蘇我店出張所	千葉県八千代市村上南1丁目3番1号 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー八千代店出張所	東京都江戸川区東葛西九丁目3番地3号 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー葛西店出張所	東京都葛飾区亀有3丁目49番地3号 千葉銀行セブン銀行代理店本店 イトーヨーカドー亀有店出張所
銀行代理業の開始年月日	平成18年5月17日	平成18年10月2日	平成21年12月7日	平成23年2月1日

振込専用支店として「ひまわり第一支店」「ひまわり第二支店」があります。なお、振込専用支店は、窓口業務などの取扱いはございません。

主な手数料一覧 (平成23年6月30日現在)

ATM利用手数料

下記手数料には、消費税相当額が含まれています。

1) 当行ATM・CD

	0:00	8:00	8:45	9:00	14:00	17:00	18:00	19:00	21:00	23:00
当行カードによる 引出、振込、税金・各種料金払込	平日		105円	無料			105円			
	土曜・祝日	105円								
	日曜	105円								
提携カードによる引出、振込	平日		210円	105円			210円			
	土曜・日曜・祝日	210円								
	平日		210円	105円			210円			
ゆうちょ銀行カードによる引出	平日		210円	105円			210円			
	土曜	210円								
	日曜・祝日	210円								

*店舗によりご利用時間が異なります。*当行カードのご利用について、ポイントサービス「ひまわり宣言」及び本体発行クレジットカードによる割引を実施しています。
*振込には別途振込手数料が必要となります。*引出にはカードローンの利用を含みます。
*常陽銀行、横浜銀行、東京都民銀行、武蔵野銀行、筑波銀行をご利用の場合の手数料は、当行カードをご利用の場合と同一となります。

2) コンビニATM

(E-net ATM・ローンATM・セブン銀行ATM)

	0:00	8:45	18:00	19:00	24:00
当行カードによる引出・預入・振込	平日	210円	105円		210円
	土曜・祝日	210円			
	日曜	210円			

*店舗によりご利用時間が異なります。また、一部ATMが設置されていない店舗があります。*ポイントサービス「ひまわり宣言」及び本体発行クレジットカードによる割引を実施しています。*日曜日の19:00～月曜日8:00まではご利用いただけません。祝日のご利用時間は、当該曜日と同じとなり、手数料は終日210円となります。*振込には別途振込手数料が必要となります。なお、当行キャッシュカードによる当行宛の振込はすべて当行本支店扱いとなります。*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*法人カードによる預入はお取り扱いしておりません。

3) ゆうちょ銀行ATM・CD

	0:00	0:30	8:45	18:00	19:00	23:30
当行カードによる引出	平日		210円	105円		210円
	土曜	210円				
	日曜・祝日	210円				

*店舗によりご利用時間が異なります。*日曜・祝日の19:00～翌日8:00まではご利用いただけません。*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*ポイントサービス「ひまわり宣言」及び本体発行クレジットカードによる割引を実施しています。

4) ビューアルutte (JR東日本) ATM

	0:05	8:45	18:00	19:00	23:55	
当行カードによる引出	平日		210円	105円		210円
	土曜・祝日	210円				
	日曜	210円				

*店舗によりご利用時間が異なります。*日曜日の19:00～月曜日8:00まではご利用いただけません。祝日のご利用時間は、当該曜日と同じとなり、手数料は終日210円となります。
*カードローンはご利用いただけません。*ポイントサービス「ひまわり宣言」及び本体発行クレジットカードによる割引を実施しています。

5) イオン銀行ATM

	0:00	8:00	8:45	9:00	17:00	18:00	21:00
当行カードによる引出	平日		210円	105円			210円
	土曜・日曜・祝日	210円					

*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*ポイントサービス「ひまわり宣言」及び本体発行クレジットカードによる割引を実施しています。

6) 横浜銀行 東京都民銀行 常陽銀行 武蔵野銀行 筑波銀行 ATM

	0:00	8:00	8:45	9:00	17:00	18:00	21:00
当行カードによる引出・振込	平日		105円	無料			105円
	土曜・日曜・祝日	105円					

*引出にはカードローンの利用を含みます(事業向けローンカードはご利用いただけません)。*振込の際は、別途振込手数料がかかります。
*ポイントサービス「ひまわり宣言」及び本体発行クレジットカードによる割引は行っておりません。

振込手数料

(1件あたり)

利用区分		同一店宛	当行本支店宛	他行宛
窓口ご利用の場合	電信扱	3万円以上	420円	840円
		3万円未満	210円	630円
	文書扱	3万円以上	-	840円
		3万円未満	-	630円
ATMご利用の場合(キャッシュカード扱い)	電信扱	3万円以上	無料	210円
		3万円未満	無料	105円
ATMご利用の場合(現金扱い)	電信扱	3万円以上	315円	630円
		3万円未満	105円	420円
テレフォンバンキング、インターネットバンキング、モバイルバンキング(無人対応)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	420円
		3万円未満	無料	210円
テレフォンバンキング(オペレータ対応)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	420円
		3万円未満	無料	210円
エレクトロニック・バンキング(EB)ご利用の場合	電信扱	3万円以上	無料	630円
		1万円以上3万円未満	無料	420円
		1万円未満	無料	315円
MT・FD ご利用の場合	電信扱	3万円以上	210円	630円
		1万円以上3万円未満	105円	420円
		1万円未満	105円	315円

*キャッシュカードによるATMでのお振込には、別途ATM利用手数料が必要となります。
*[E-net ATM][ローンATM][セブン銀行ATM]での当行キャッシュカードによる当行宛のお振込は、すべて当行本支店扱いとなります。

定額自動送金手数料

(1) 取扱手数料

1回	52.5円
----	-------

*[1回あたり手数料(消費税込)×送金回数]にて算出します(1円未満切り捨て)。

(2) 振込手数料

	同一店宛	当行本支店宛	他行宛
3万円以上	210円	210円	630円
3万円未満	105円	105円	420円

金利選択型住宅ローン(ベストチョイス21)繰上返済等手数料

	変動金利期間中	固定金利期間中	固定金利期間終了時
一部繰上返済	5,250円	21,000円	5,250円
全額繰上返済	5,250円	31,500円	5,250円
条件変更(上記以外)	5,250円	5,250円	5,250円
金利選択時の手数料	5,250円 (変動金利から固定金利に変更する場合のみ)		

両替機利用手数料

両替機利用カード	1枚	年間12,600円
----------	----	-----------

*両替機での包装硬貨へのご両替の際に、「両替機利用カード」が必要となります。

*紙幣・バラ硬貨へのご両替につきましては、無料でご利用いただけます(両替機利用カードは必要ございません)。

窓口両替手数料

(1件あたり)

両替枚数	1~49枚	50~1,000枚	1,001~2,000枚	2,001枚以上
手数料	無料	315円	630円	1,000枚毎に315円を加算

*お客さまがご持参された紙幣・硬貨の合計枚数とお持ち帰りになる紙幣・硬貨の合計枚数のいずれか多い方の枚数が対象となります。

*窓口での現金によるご預金のお引出しの際(集配金の際を含む)に金種をご指定される場合、ご指定の紙幣・硬貨の合計枚数に応じて、窓口での両替手数料と同額の手数料をお支払いいただきます。

*同一金種への交換(新券への交換、汚損した現金の交換、記念硬貨の交換を含む)につきましては、手数料は無料です。

手形・小切手帳発行手数料

一般当座小切手帳	1冊(50枚綴)	630円
約束手形帳・為替手形帳	1冊(50枚綴)	1,050円
ホームチェック	1冊(20枚綴)	315円
マル専約束手形	手形用紙(1枚)	525円
	取扱手数料(1契約)	3,150円

代金取立手数料

(1通あたり)

同一交換*	本支店払	315円
	他行払	315円
県外交換*	本支店払	630円
	他行払	735円
個別取立	本支店払	735円
	他行払(普通扱)	945円
	他行払(至急扱)	1,050円

*窓口等で即時入金する3日券扱いの手形・小切手の取立については無料です。

ICキャッシュカード発行手数料

ICキャッシュカード(単体型)*	1枚	発行時1,050円
ICキャッシュ/クレジット一体型(スーパーカード一体型)	1枚	無料

*ポイントサービス「ひまわり宣言」による割引を実施しています。

貸金庫・セーフティーケース手数料

種類	高さ	平日のみご利用できるタイプ			365日ご利用できるタイプ
		1ヵ月払	6ヵ月払	6ヵ月払	6ヵ月払
自動貸金庫	6cm以下	1,365円	7,980円	9,870円	
	6cm超8cm以下	1,575円	9,240円	11,130円	
	8cm超10cm以下	1,785円	10,500円	12,390円	
	10cm超12cm以下	1,995円	11,760円	13,650円	
	12cm超16cm以下	2,415円	14,280円	16,170円	
	16cm超20cm以下	2,835円	16,800円	18,690円	
本貸金庫		年額 7,350円~62,160円			
簡易貸金庫		年額 9,450円			
セーフティーケース		年額 6,300円			
簡易セーフティーケース		1個1回 1,575円			

*365日ご利用できるタイプの使用料支払方法は、6ヵ月払のみです。

*コンサルティングプラザに設置されている自動貸金庫の使用料は平日タイプのものとなります。

発行・再発行手数料

自己宛小切手発行手数料	1枚	525円	
残高証明書発行手数料	1通	継続発行分	315円
		随時発行分	1,050円
		監査法人向	3,150円
再発行に関する手数料	通帳1冊	1,050円	
	キャッシュカード・ICキャッシュカード・ICローンカード・両替機利用カード・自動貸金庫ボックスカード	1,050円	

役員一覧 (平成23年6月29日現在)

取締役頭取
(代表取締役)

佐久間 英利

取締役専務執行役員
(代表取締役)

渡邊 勝彦

取締役専務執行役員
(代表取締役)

伊東 正

取締役

取締役専務執行役員 椎津 正久
 取締役常務執行役員 市原 克巳
 取締役常務執行役員 小池 哲也
 取締役常務執行役員 花島 恭一
 取締役常務執行役員 森本 昌雄
 取締役常務執行役員 大久保 壽一

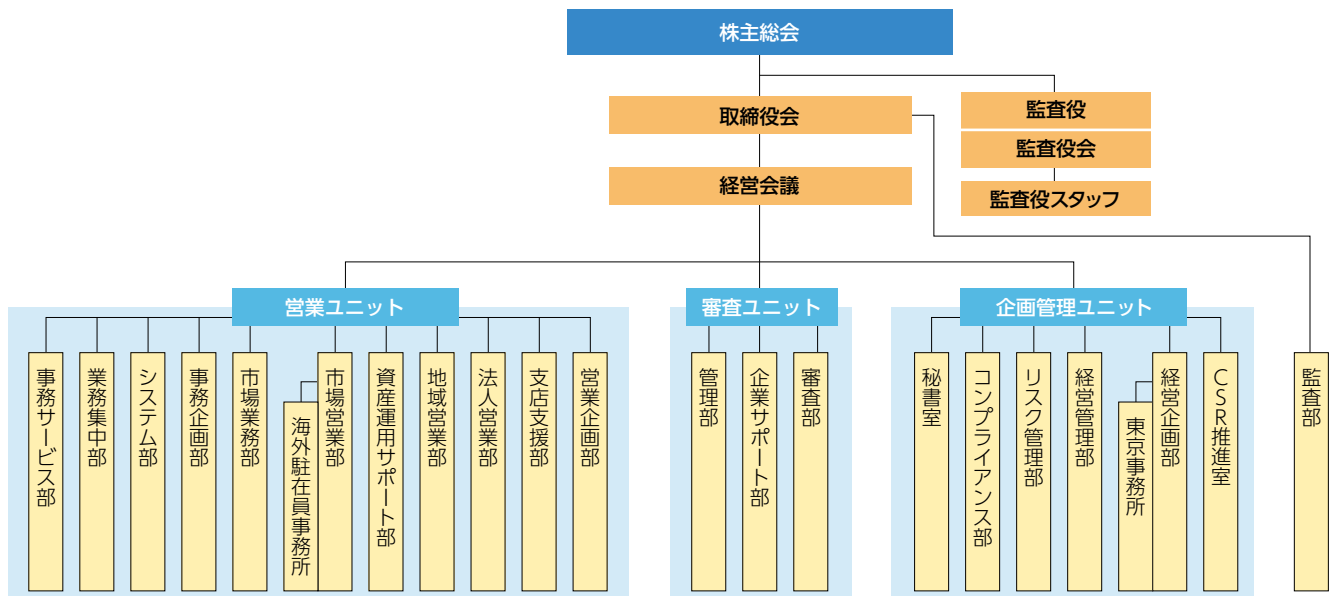
監査役

監査役(常勤) 鹿島 哲博
 監査役(常勤) 猿橋 幸男
 監査役(常勤) 瀬尾 純一郎
 監査役(非常勤) 左官 治郎
 監査役(非常勤) 白戸 章雄

執行役員

常務執行役員 栗原 和保
 常務執行役員 宮沢 孝幸
 執行役員 木村 理健
 執行役員 久保 健裕
 執行役員 吉野 徹一
 執行役員 野村 順典
 執行役員 金子 良典
 執行役員 竹内 典一
 執行役員 波多野 彰一

組織図 (平成23年6月29日現在)



索引

本誌 別冊

本誌 別冊

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 単体情報 銀行法施行規則第19条の2 </div>			
1. 概況及び組織に関する事項			
(1) 経営の組織	51		
(2) 大株主一覧		30	
(3) 役員	51		
(4) 店舗一覧	41~48		
2. 主要な業務の内容		31	
3. 主要な業務に関する事項			
(1) 事業の概況		1~4	
(2) 主要な経営指標の推移		4	
経常収益、経常利益又は経常損失、当期純利益又は当期純損失、資本金及び発行済株式の総数、純資産額、総資産額、預金残高、貸出金残高、有価証券残高、単体自己資本比率、配当性向、従業員数、信託報酬、信託財産額、信託勘定貸出金残高、信託勘定有価証券残高			
(3) 業務に関する指標			
① 主要な業務の状況を示す指標			
ア. 業務粗利益・業務粗利益率		32	
イ. 資金運用収支、役員取引等収支等		32	
ウ. 資金運用勘定・調達勘定の平均残高等、資金利ざや		33、45	
エ. 受取利息・支払利息の増減		33	
オ. 経常利益率		45	
カ. 当期純利益率		45	
② 預金に関する指標			
ア. 預金科目別残高		34	
イ. 定期預金の残存期間別残高		34	
③ 貸出金等に関する指標			
ア. 貸出金残高		35	
イ. 貸出金の残存期間別残高		36	
ウ. 貸出金、支払承諾見返の担保別内訳		37	
エ. 貸出金使途別内訳		37	
オ. 貸出金業種別内訳		35	
カ. 中小企業等向け貸出金		35	
キ. 特定海外債権残高		37	
ク. 預貸率		45	
④ 有価証券に関する指標			
ア. 商品有価証券の種類別平均残高		38	
イ. 有価証券の種類別の残存期間別残高		39	
ウ. 有価証券種類別残高		38	
エ. 預証率		45	
⑤ 信託業務に関する指標			
ア. 信託報酬		4	
イ. 信託財産額		4	
ウ. 信託勘定貸出金残高		4	
エ. 信託勘定有価証券残高		4	
オ. 信託財産残高表		45	
4. 業務運営に関する事項			
(1) リスク管理の体制		35~40	
(2) 法令遵守の体制		29、30	
(3) 指定紛争解決機関の名称		1	
5. 財産の状況に関する事項			
(1) 貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書		24~30	
(2) リスク管理債権額	15、16	36	
破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権、貸出条件緩和債権			
(3) 自己資本の充実の状況		31	
(4) 時価等情報			
① 有価証券の時価等情報		40~42	
② 金銭の信託の時価等情報		42	
③ デリバティブ取引情報		43~44	
(5) 貸倒引当金期末残高及び期中増減額		36	
(6) 貸出金償却額		37	
(7) 会社法による会計監査人の監査		24	
(8) 金融商品取引法に基づく監査証明		24	
(9) 単体自己資本比率の算定に関する外部監査		31	
(10) 重要な後発事象		30	
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 金融機能の再生のための緊急措置に関する法令施行規則第6条 </div>			
資産の査定公表		15、16	36
正常債権、要管理債権、危険債権並びに破産更生債権及びこれらに準ずる債権			
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 連結情報 銀行法施行規則第19条の3 </div>			
1. 銀行及び子会社等の概況に関する事項			
(1) 主要な事業の内容、組織の構成		5	
(2) 子会社等に関する情報		5	
名称、所在地、資本金、業務内容、設立年月日、当行議決権比率、子会社等議決権比率			
2. 銀行及び子会社等の主要な業務に関する事項			
(1) 事業の概況		1~3	
(2) 主要な経営指標の推移		2	
経常収益、経常利益又は経常損失、当期純利益又は当期純損失、包括利益、純資産額、総資産額、連結自己資本比率			
3. 銀行及び子会社等の財産の状況に関する事項			
(1) 連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書		6~13	
(2) リスク管理債権額	15、16	15	
破綻先債権、延滞債権、3カ月以上延滞債権、貸出条件緩和債権			
(3) 自己資本の充実の状況		14	
(4) セグメント情報		15	
(5) 会社法による会計監査人の監査		6	
(6) 金融商品取引法に基づく監査証明		6	
(7) 連結自己資本比率の算定に関する外部監査		14	
(8) 重要な後発事象		13	

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉市中央区千葉港1-2

TEL.043-245-1111 (代表)

<http://www.chibabank.co.jp/>

平成23年7月発行



この印刷物は、NPO法人カラーユニバーサル
デザイン機構により色覚の個人差を問わず、
多くの方に見やすく配慮されたデザイン（カラー
ユニバーサルデザイン）として認定されました。

